

SD115 溝跡出土遺物

No.	登録 番号	遺構名	層位	種類	器種	器高 長さ	口径幅	底径 厚さ	重さ	備考・特記事項	年代・形式	写真 図版
19-1	E-2	SD16	1 · 2層	須恵器	瓶	_	_	_	14.3	ロクロ	古代	
19-2	E-3			須恵器	瓶	_	_	_	21.5	ロクロ 外: ヘラナデ	古代	
19-3	G-4	SD21		土師質土器	皿 (かわらけ)	_	_	5.4	17.6	ロクロ 外: ヘラナデ? 仕上形成痕跡あり 底: 回転糸きり	中世?	12-1
19-4	Кс-5		1層	石製品	砥石	9.9	3.1	3.1	98.2	磨り面 (5面)		12-3
19-5	B-1			弥生土器	斃or壺	_	_	(7.2)	21.5	外:RL縄文(斜行)のちナデ 内:ナデ? 底:木葉痕、籾圧痕?	弥生	11-19
19-6	I-17		上層	陶器	壺?	_	_	_	125.0	外:自然釉 内:押さえ痕・ナデ 割れ口と外面を砥石 として再利用・磨り面 (3面) 渥美	12c	12-2
19-7	I-20			陶器	鉢	_	_	_	60.0	ロクロ 産地不明 東海?	中世	12-4
20-1	I-18	SD26		陶器	壺	_	_	_	21.0	外:自然釉 信楽?	近世	
20-2	I-16			陶器	擂鉢	_	_	_	25.7	鉄釉 岸窯系	17c	12-5
20-3	I-19			陶器	鉢	_	(11.2)	_	23.6	鉄釉 (口縁部二重掛) 岸窯系	17 c 中~後葉	12-6
20-4	Кс-6			石製品	砥石	7.3	3.0	1.4	41.8	タール状物質付着 磨り面 (4面)		12-7
20-5	E-4	SD96		須恵器	瓶	_	_	_	16.4	ロクロ	古代	
20-6	E-5	SD114		須恵器	捏鉢	_	_	(11.0)	42.7	ロクロ 外: ヘラケズリ 底: ヘラケズリ	古代	12-8
20-7	E-6	CD11E		須恵器	坏	_	_	(9.2)	14.2	ロクロ 底:回転ヘラ切り	古代	
20-8	Кс-7	SD115	最下層	石製品	砥石	6.7	5.7	3.4	185.0	円礫 磨り面 (4面)		12-9

単位はcm・g ( )の数値は復元値

第20図 溝跡出土遺物 (2)

#### (3) 土坑

今回の調査で、23基の土坑が検出された。本報告では分層された土坑を中心に詳細に記述し、単層のものは一覧表で示した。

#### SK5土坑 (第21図)

D9グリッドで検出された。平面形状はやや歪な円形を、断面形状はやや開いた箱形を呈する。規模は直径約135~140cm、深さ約40cmである。堆積土は7層に細分され、黒色、黒褐色、暗褐色の砂、砂質シルト、粘土質シルトで構成され、2層中に焼土粒などが混入する。SD14溝跡と小溝状遺構E群と重複しており、どの遺構よりも新しい。

遺物は $1 \sim 2$  層中から、土製品の底部と見られる破片が出土している(第24図1・写真図版12-10)。 時期はSD14溝跡よりも新しいことから、近世以降であると考えられる。

#### SK17土坑 (第21図)

E9グリッドで検出された。平面形状は円形を、断面形状は円錐形を呈する。規模は直径約120~130cm、深さ約50cmである。堆積土は3層に細分され、黒色、黒褐色の砂、砂質シルト、シルトで構成され、2層はⅢ層ブロックが混入する人為堆積層で、3層はほぼ均質な自然堆積層であると考えられる。遺物は出土していない。

時期は遺物が出土しておらず、また他の遺構との重複関係もないことから不明である。

#### SK18・75土坑 (第21図)

E10グリッドで検出された。SK18土坑は、平面形状が不整方形を、断面形状は浅い皿形を呈する。規模は南北約3.5 m、東西約2.2m、深さ約20cmで、調査区のさらに東側に広がるものと思われる。堆積土は5層に細分され、黒色、黒褐色、暗褐色、灰白色のシルト、粘土、砂で構成され、第2層は灰白色火山灰層である。SM8・9小溝状遺構と、SD11溝跡、SK75土坑と重複し、SK75よりも新しく、他の遺構よりも古い。遺物は出土していない。

時期は、第2層が灰白色火山灰の堆積層であることから平安時代以前であると考えられる。

SK75土坑は、大部分がSK18と重複しているため、平面形状は不明だが、断面形状は浅い皿型を呈するものと思われる。規模は東西約1.8m、南北約1.1m、深さ約15cmで調査区のさらに東側に広がるものと思われる。堆積土は2層に細分され、いずれも黒褐色の砂質シルトである。遺物は出土していない。

SM8小溝状遺構と、SD11溝跡、SK18土坑と重複し、他の遺構よりも古い。時期はSK18よりも古いことから平安時代以前であると考えられる

#### SK56土坑 (第21図)

C7グリッドで検出された。平面形状はやや歪な円形を、断面形状は開いた箱形を呈する。規模は直径約80~90cm、深さ約20cmである。堆積土は3層に細分され、黒色、黒褐色、褐色の砂層で構成され、いずれの層にもⅢ層ブロックが混入する。小溝状遺構H群のSM63と重複し、これよりも新しい。

遺物は出土していない。

時期は、重複関係から近世以降であると考えられる。

#### SK76土坑 (第22図)

E9グリッドで検出された。平面形状はやや歪な楕円形を、断面形状は浅い皿形を呈する。規模は直径約80~190cm、深さ約10cmである。堆積土は5層に細分され、灰黄褐色、黒褐色、褐色の砂層で構成され、いずれの層

にもⅢ層ブロックが混入する。小溝状遺構E群のSM6と、H群のSM7、SK78土坑と重複し、SK78よりも新しく、SM6よりも古い。遺物は出土していない。

時期は、重複関係から近世以前と考えられる。

#### SK79土坑 (第22図)

A7・B7グリッドで検出された。平面形状はやや歪な楕円形を、断面形状はやや開いた箱形を呈する。規模は直径約140~160cm、深さ約45cmである。堆積土は4層に細分され、黒褐色、明黄褐色の砂と、粘土で構成される。第2層は灰白色火山灰層で、第3・4層はⅢ層ブロックが混入する人為堆積層であると考えられる。他の遺構との重複関係はない。遺物は出土していない。

時期は、第2層が灰白色火山灰層であることから、平安時代以前であると考えられる。

#### SK85土坑 (第9·22図)

E9グリッドで検出された。平面形状は歪な円形を、断面形状は皿形を呈する。規模は直径約100~150cm、深さ約25cmで、調査区の南側にさらに広がる。堆積土は3層に細分され、黒褐色、暗褐色、褐色の砂および粘土質シルトで構成される。小溝状遺構群H群であるSM8と重複しており、これよりも新しい。遺物は出土していない。

時期は、小溝状遺構H群よりも新しいことから、近世以降であると考えられる。

#### SK92土坑 (第22図)

B6グリッドで検出された。平面形状は歪な円形を、断面形状はやや開いた箱形を呈する。規模は直径約160cm、深さ約55cmである。堆積土は7層に細分され、黒褐色、暗褐色、褐色の砂で構成される。  $4 \sim 7$ 層は人為堆積層であると考えられる。 小溝状遺構群B群であるSM81と、P63と重複しており、P63よりも古く、SM81よりも新しい。遺物は出土していない。

時期は、小溝状遺構B群よりも新しいことから、古代以降であると考えられる。

#### SK93土坑 (第23図)

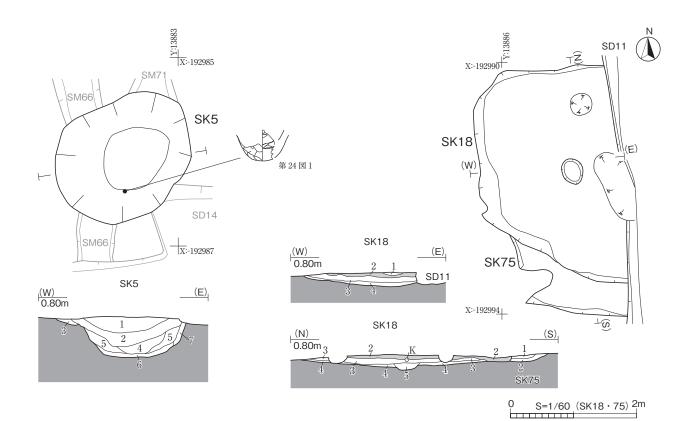
A5・A6グリッドで検出された。平面形状は歪な円形を、断面形状はやや開いた箱形を呈する。規模は直径約110~130cm、深さ約35cmである。堆積土は6層に細分され、黒色、黒褐色、にぶい黄褐色、暗褐色の砂、砂質シルト、シルト等で構成され、炭化粒などが2、3層に混入する。小溝状遺構群B群であるSM101と重複しており、これよりも新しい。遺物は出土していない。

時期は、小溝状遺構B群よりも新しいことから、古代以降であると考えられる。

#### SK102土坑 (第23図)

A4グリッドで検出された。平面形状は歪な円形を、断面形状は皿形を呈し、底部でさらに一段窪む。規模は直径約180~195cm、深さ約40cmである。堆積土は5層に細分され、黒褐色、灰白色の砂、シルト、粘土質シルトで構成され、炭化粒が2層以外の各層に、特に3層、4層に比較的多くに混入する。また2層は灰白色火山灰の堆積層で、1層にもブロック状に混入する。小溝状遺構群B群であるSM108とSL1土塁、P82と重複しており、SL1とP82よりも古く、SM108よりも新しい。遺物は出土していない。

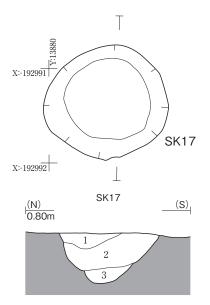
時期は、第2層が灰白色火山灰層であることから、平安時代以前であると考えられる。

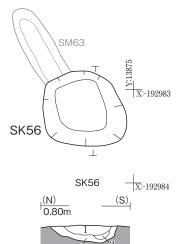


SK5			
層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR2/1 黒色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。
2	10YR1.7/1 黒色	粘土質シルト	焼土粒(φ2mm)少量。腐食土混入。
3	10YR4/4 褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。
4	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	ほぼ均質。
5	10YR3/1 黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ2cm)。
6	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 少量。
7	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。

SK	SK18						
層個	立 色調	土質	質備考・混入物				
1	10YR3/2 黒褐	色 粘土	上 灰白色粘土ブロック (φ1cm) 少量。				
2	10YR7/1 灰白	色 シル	下 灰白色火山灰層。				
3	10YR2/3 黒褐	色 砂	酸化鉄粒(φ2mm)少量。				
4	10YR3/4 暗複	色 砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。				
5	10YR2/1 黒色	. 砂	炭化粒 (φ2mm) 少量。				

層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR2/3 黒褐色	砂質シルト	均質な層。
2	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	酸化鉄粒 (φ5mm) 斑状に含む。





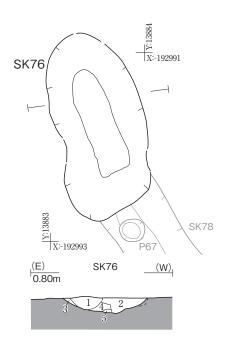


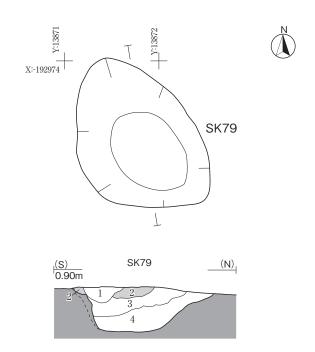
Q	S=	1/4	40		1	n
			$\neg$	-		

	SK17	7		
١	層位	色調	土質	備考・混入物
ı	1	10YR2/3 黒褐色	砂	酸化鉄粒(φ2mm)少量。
ı	2	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)少量。人為堆積土。
ı	3	10YR1.7/1 黒色	シルト	ほぼ均質。自然堆積土。

	SK56	6		
1	層位	色調	土質	備考・混入物
1	1	10YR2/1 黒色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 少量。
1	2	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。
]	3	10YR4/4 褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。

第21図 土坑 平·断面図(1)

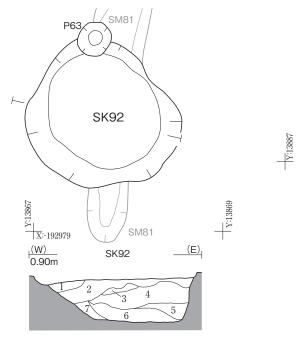




n/t	)
習位	色調

層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR3/1 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 下層との境に斑状に堆積。
2	10YR3/2 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ3cm) 少量。
3	10YR4/2 灰黄褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。暗褐色砂ブロック(φ1cm)少量。
4	10YR3/2 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm)。
5	10YR4/4 褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。黒褐色砂ブロック (φ1cm) 少量。

層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	灰白色粘土ブロック(φ1cm)少量。
2	10YR7/6 明黄褐色	粘土	灰白色火山灰ブロック主体。
3	10YR2/3 黒褐色	砂	炭化粒 (φ2mm) 少量。人為的堆積。
4	10YR2/3 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。人為的堆積。

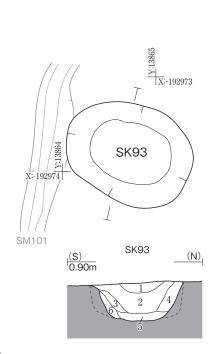


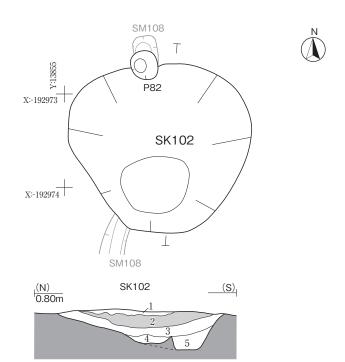


01132	-		
層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR3/4 暗褐色	砂	酸化鉄粒(φ2mm)少量。
2	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)少量。炭化粒(φ2mm)少量。
3	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。
4	10YR3/4 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。10YR2/2 黒褐色砂ブロック(φ1~2cm)少量。人為堆積。
5	10YR4/4 褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。酸化鉄粒(φ2mm)少量。人為堆積。
6	10YR2/2 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。
7	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 下層との境に斑状に堆積。

S=1/40 1m

第22図 土坑 平·断面図(2)

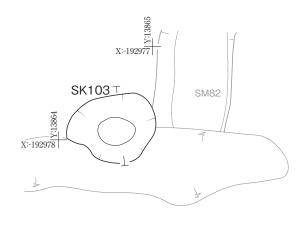


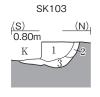


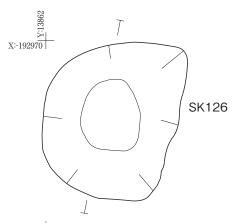
層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR2/2 黒褐色	粘土質シルト	ほぼ均質。
2	10YR1.7/1 黒色	シルト	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。炭化粒 (φ2mm) 少量。
3	10YR2/1 黒色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック(φ1cm)少量。炭化粒(φ2mm)少量。
4	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。
5	10YR2/2 黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。
6	10YR4/3 にぶい黄褐色	砂	10YR2/2 黒褐色砂ブロック ( o 1cm ) 斑状に含む。

#### SK102

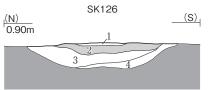
層位	色調	土質	備考・混入物						
1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	灰白色火山灰ブロック(φ1cm)少量。炭化粒(φ2mm)少量。						
2	10YR8/2 灰白色	シルト	灰白色火山灰層。						
3	10YR3/2 黒褐色	砂	炭化粒(φ2mm)中量。						
4	10YR2/2 黒褐色	砂	炭化粒(φ2mm)少量。						
5	10YR2/3 黒褐色	砂	炭化粒(φ2mm)少量。						

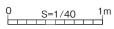










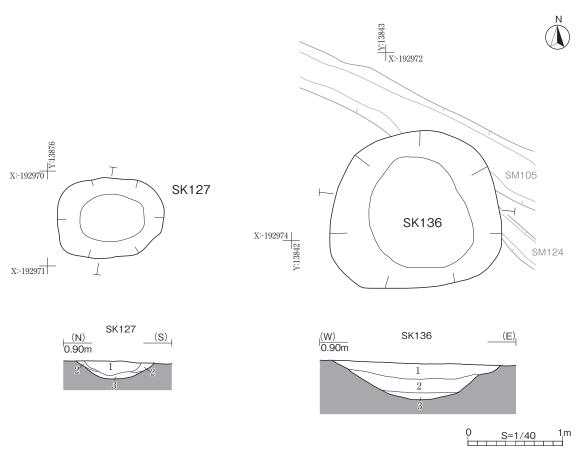


#### SK103

-	38103										
ĺ	層位	色調	土質	備考・混入物							
1	1	10YR2/3 黒褐色	粘土質シルト	炭化粒 (φ2~5mm) 中量。							
1	2	10YR3/4 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)少量。							
1	3	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)下層斑状に堆積。炭化粒(φ2mm)少量。							

層位	色調 土質		備考・混入物				
1	10YR3/1 黒褐色	粘土質シルト	酸化鉄粒(φ2mm)少量。				
2	10YR7/3 にぶい黄橙色	シルト	灰白色火山灰層。				
3	10YR2/3 黒褐色	砂	酸化鉄粒 (φ2~5mm) 斑状に含む。				
4	10YR3/3 暗褐色	砂	酸化鉄粒 (φ2mm) 少量。				

第23図 土坑 平·断面図(3)



١				
ı	層位	色調	土質	備考・混入物
ı	1	10YR2/1 黒色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 下層に堆積。
ı	2	10YR3/3 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。
	3	10YR3/4 暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。黒色砂ブロック (φ1cm) 斑状に含む。

層位	色調	土質	備考・混入物
1	10YR2/1 黒色	砂	■層ブロック (φ1~5cm) 少量。炭化粒 (φ2mm) 少量。
2	10YR3/2 黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ3~5cm) 少量。
3	10YR1.7/1 黒色	砂質シルト	ほぼ均質。



Q			(S	=1	/3)			10cm	
	$\perp$	$\perp$	$\perp$	$\equiv$	$\perp$		$\perp$		

No.	登録 番号	遺構名	層位	種類	器種	器高 長さ	口径幅	底径 厚さ	重さ	備考・特記事項	年代・形式	写真 図版
24-1	P-2	SK5		土製品	不明	_	ı	2.0	83.4	手づくね 焼成良好 指ナデ・押さえ 底:指ナデ	時期不明	12-10

単位はcm・g ( )の数値は復元値

第24図 土坑 平·断面図(4)·出土遺物

#### SK103土坑 (第23図)

B5グリッドで検出された。遺構の南側上面が撹乱により削られている。平面形状は楕円形を、断面形状は箱形を呈するものと考えられる。規模は直径約70~95cm、深さ約25cmである。堆積土は3層に細分され、黒褐色、暗褐色の砂、粘土質シルトで構成され、炭化粒が1層に比較的多くに混入する。小溝状遺構群B群であるSM82と重複しており、これよりも新しい。遺物は出土していない。

時期は、小溝状遺構B群よりも新しいことから、古代以降であると考えられる。

#### SK126土坑 (第23図)

A5グリッドで検出された。平面形状は楕円形を、断面形状は皿形を呈する。規模は直径約140~165cm、深さ約25cmである。堆積土は4層に細分され、黒褐色、暗褐色の砂、粘土質シルトで構成され、2層が灰白色火山灰の堆積層で、その他の層には酸化鉄粒が混入する。SL1土塁と重複しており、これよりも古い。遺物は出土していない。時期は、第2層が灰白色火山灰層であることから、平安時代以前であると考えられる。

#### SK127土坑 (第24図)

A8グリッドで検出された。平面形状は楕円形を、断面形状は皿形を呈する。規模は直径約85~110cm、深さ約20cmである。堆積土は3層に細分され、黒色、暗褐色の砂、砂質シルトで構成される。SL1土塁と重複しており、これよりも古い。遺物は出土していない。

時期は、SL1よりも古いことから近世以前であると考えられる。

#### SK136土坑 (第24図)

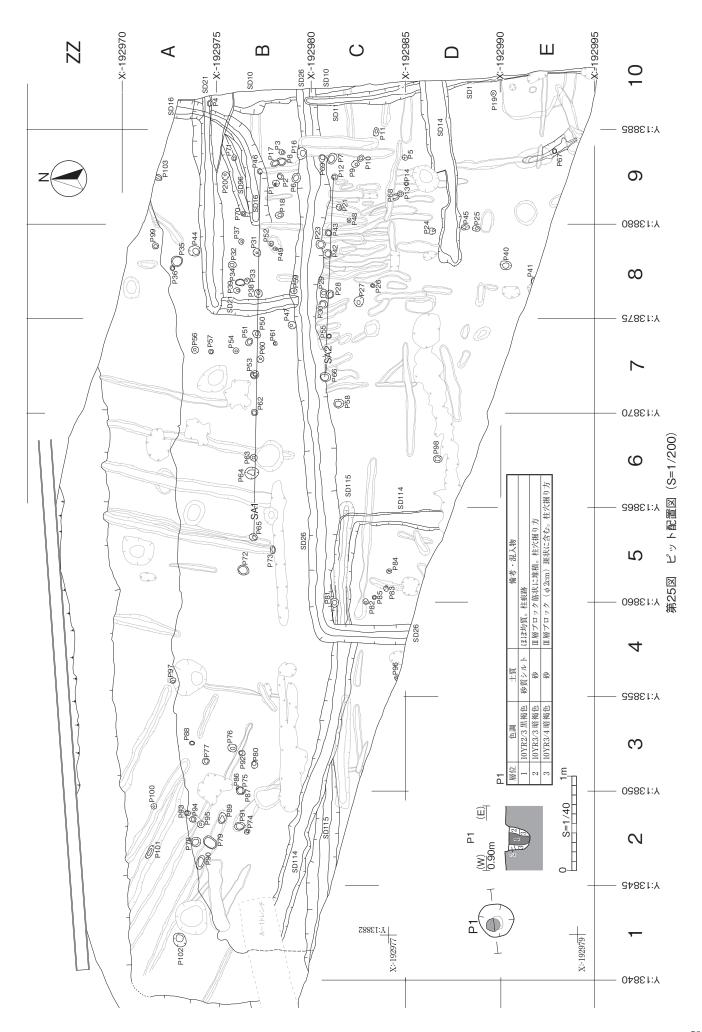
A1グリッドで検出された。平面形状はやや歪な円形を、断面形状は皿形を呈する。規模は直径約170~180cm、深さ約40cmである。堆積土は3層に細分され、黒色、黒褐色の砂、砂質シルトで構成される。SL1土塁と小溝状遺構A群であるSM105、124と重複しており、SL1よりも古く、SM105、124よりも新しい。遺物は出土していない。時期は、重複関係から古代以降、近世以前であると考えられる。

遺構名	色調 土質 新>旧		新>旧	備考・混入物	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)	
SK19	10YR2/3 黒褐色 砂			Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	D8、D9	1.20	0.55	13.4	
SK24	24 10YR2/3 黒褐色 砂			Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	D7	1.00	0.55	1.8~19.6	
SK25	10YR3/4	暗褐色	砂		Ⅲ層ブロックが下層に斑状に堆積。	B8	0.92	0.65	11.5
SK55	10YR3/3	暗褐色	砂	SD14>	Ⅲ層ブロックが下層に斑状に堆積。	C8, D8	1.56	0.70	5.7~10.9
SK78	10YR3/3	暗褐色	砂	SK76、85>	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。	E9	1.20	0.60	11.2
SK91	10YR3/2	黒褐色	砂	SK55、SM51>	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。	D8	1.15	0.68	10.7
SK112	10YR3/4	暗褐色	砂		砂主体。褐色砂質シルトブロック(φ2~3cm)を斑状に含む。	B2、B3	1.60	1.05	13.0
SK135	10YR3/4	暗褐色	砂	SL1,SM82>	砂主体。褐色砂質シルトブロック( $\phi$ 2 $\sim$ 4cm)を斑状に含む。	A6	1.32	0.82	11.7

表 2 土坑土層註記表 (単層)

#### (4) 柱列跡・ピット

今回の調査では101基のピットが検出された。大部分は単層の堆積土であったが、一部のピットからは柱痕跡が確認された(P1・第25図)。また当初は単独のピットとして扱っていたが、配列などから2条の柱列跡を抽出した。抽出した柱列跡は、それぞれのピットの位置がSD26溝跡を挟んでほぼ平行に並列することから、同時期に存在していたものと考えられる。SA1柱列とSA2柱列の距離は3.7mである。

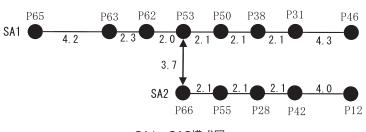


#### SA1柱列跡 (第25図)

B5~B9グリッドで検出された柱列である。P46・31・38・50・53・62・63・65で構成される。方位はE-1°-Sである。検出長は19.3mで、柱穴間の距離はP46-31が4.3mで、P31-38-50-53が2.1m、P53-62が2.0m、P62-63が2.3m、P63-65が4.2mである。柱穴はいずれも円形で、規模は直径30~42cm、検出面からの深さは25~42cmである。またP53は掘り方の底面に段がある。

#### SA2柱列跡 (第25図)

B7~B9グリッドで検出された柱列である。P12・42・28・55・66で構成される。方位はE-1°-Sである。検出長は10.6mで柱穴間の距離はP12-42が4.0mで、P42-28-55-66が2.1mである。柱穴はいずれも円形もしくは楕円形で、規模は直径20~55cm、検出面からの深さ12~30cmである。



SA1・SA2模式図

表3-1 ピット土層註記表(1)

遺構名	色調	土質	備考・混入物	直径 (cm)	深さ (cm)	座	標
P1			第25図	36	35	X: -192978.1	Y: 13882.2
P2	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	31~36	22.5	X: -192978.4	Y: 13882.5
Р3	10YR2/3黒褐色	砂	炭化粒 (φ2mm) 微量。	28~34	23.4	X: -192978.5	Y: 13883.8
P4	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	25~31	20.5	X: -192974.6	Y: 13886.4
P5	10YR2/3黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	30	11.9	X: -192984.9	Y: 13883.5
P6	10YR2/3黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	43~52	22.5	X: -192979.2	Y: 13882.4
P7	10YR3/3暗褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	44~61	12.2	X: -192981.1	Y: 13883.5
P8	10YR3/3暗褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	41~49	13.2	X: -192978.5	Y:13883.3
P9	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。	33~40	30.1	X: -192982.4	Y:13883.2
P10	10YR4/4褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	29~35	11.5	X: -192982.6	Y: 13883.5
P11	10YR3/3暗褐色	砂質シルト	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	29~45	26.2	X: -192983.4	Y:13884.9
P12	10YR4/4褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	34	6.2	X: -192981.2	Y: 13882.5
P13	10YR3/4暗褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	33	15.5	X: -192984.7	Y: 13881.6
P14	10YR3/3暗褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック(φ2cm)斑状に含む。	24	12.9	X: -192985.0	Y: 13882.1
P15			欠番				
P16	10YR2/3黒褐色	砂	ほぼ均質。	53	29.9	X: -192979.6	Y:13883.8
P17	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 斑状に含む。	33~46	19.2	X: -192978.1	Y:13883.2
P18	10YR3/2黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。	33~45	30	X: -192978.3	Y: 13880.5
P19	10YR2/3黒褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック(φ2cm)斑状に含む。酸化鉄粒(φ2cm)少量。	32	13.1	X: -192989.6	Y: 13886.9
P20	10YR4/4褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。	42	22.1	X: -192975.5	Y:13882.6
P21	10YR2/3黒褐色	砂	ほぼ均質。	29~34	12.9	X: -192981.5	Y:13880.9
P22			欠番				
P23	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~3cm)斑状に含む。	50	12.9	X: -192980.5	Y: 13878.9
P24	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~3cm)斑状に含む。	35	28.1	X: -192986.4	Y: 13879.6
P25	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~3cm)斑状に含む。	29~44	12.2	X: -192988.7	Y: 13879.8
P26	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ2cm)斑状に含む。	24	8.9	X: -192983.3	Y: 13876.7
P27	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)少量。	50~55	25.7	X: -192982.5	Y: 13875.9
P28	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)少量。	39~48	27.1	X: -192981.0	Y: 13876.3
P29	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	34~46	27.4	X: -192980.7	Y: 13876.3
P30	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に含む。	46	8.2	X: -192980.6	Y: 13875.8
P31	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	40	25.6	X: -192977.1	Y: 13878.5
P32	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	35~42	12.8	X: -192975.8	Y: 13877.9
P33	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	32	29.8	X: -192976.6	Y: 13877.0
P34	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	36~50	14.8	X: -192976.3	Y: 13876.9
P35	10YR2/3黒褐色	砂	III層ブロック (φ1~5cm) 少量。	58~62	15.5	X: -192972.9	Y: 13878.0
P36	10YR3/4暗褐色	砂	III層ブロック (φ1~2cm) 少量。	27	19.5	X: -192972.7	Y: 13877.7
P37	10YR2/3黒褐色	砂	III層ブロック (φ1~2cm) 少量。	30	21.7	X: -192976.3	Y: 13879.1
P38	10YR2/3黒褐色	砂	II 層ブロック (φ1~3cm) 少量。赤色砂ブロック (φ3cm) 少量。	43	33.1	X: -192977.2	Y: 13876.4
P39	10YR2/3黒褐色	砂	III層ブロック (φ1~2cm) 少量。	30~35	32.4	X: -192976.1	Y: 13876.5
P40	10YR2/2黒褐色	シルト	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	47~60	16.9	X: -192990.3	Y: 13877.8

表3-2 ピット土層註記表(2)

			表3-2 ビット土曽註記表(2)				
遺構名	色調	土質	備考・混入物	直径 (cm)	深さ (cm)	座	標
P41	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	55	18.5	X: -192991.7	Y: 13877.0
P42	10YR3/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~5cm) 少量。	47	30.9	X: -192980.9	Y: 13878.4
P43	10YR3/4褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	35	35	X: -192980.9	Y: 13879.5
P44	10YR3/3暗褐色	砂質シルト	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	55~60	21.8	X: -192973.8	Y: 13878.6
P45	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	28~43	15.7	X: -192988.1	Y: 13879.8
P46	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	25~30	38.5	X: -192977.3	Y: 13882.8
	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	43	34	X: -192979.0	Y: 13874.6
	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	23	18.4	X: -192982.0	Y: 13880.2
	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1 hcm) 斑状に含む。	19~25	31.1	X: -192978.1	Y: 13878.7
	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	39~46	39.8	X: -192977.1	Y: 13874.2
P51	101 R2/3黒褐色	砂砂	はは均質。	35~44	42.8	X: -192971.1 X: -192976.7	Y: 13873.8
	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)少量。	26~30	34.4	X: -192977.9	Y: 13878.9
	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に下層に堆積。	46	37.8	X: -192977.0	Y: 13872.0
P54	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	34	26.1	X: -192976.0	Y: 13873.3
	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)斑状に含む。	21~26	29.3	X: -192980.9	Y: 13874.1
	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)斑状に含む。	38	24.6	X: -192973.9	Y: 13873.4
P57	10YR3/3暗褐色	砂	ほぼ均質。	26	27.4	X: -192974.7	Y: 13873.3
P58	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)斑状に含む。	47~53	12.7	X: -192981.4	Y: 13870.5
P59	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に下層に堆積。	30~36	28.1	X: -192979.1	Y: 13876.5
P60	10YR3/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	37	33.1	X: -192977.3	Y: 13872.9
P61	10YR3/3暗褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	22	24.6	X: -192978.1	Y: 13873.7
P62	10YR3/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	33	42.7	X: -192977.0	Y: 13870.0
P63	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	38	33	X: -192977.0	Y: 13867.6
P64	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 少量。	63~76	34.8	X: -192976.8	Y: 13866.8
P65	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) 斑状に下層に堆積。	37~42	17.2	X: -192977.0	Y: 13863.4
	10YR4/3にぶい黄褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)少量。	48~56	21.6	X: -192980.7	Y: 13871.9
P67	10YR3/2黒褐色	砂	■	26	28	X: -192992.9	Y: 13883.9
	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。	35	13.4	X: -192984.5	Y: 13881.5
	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。	33~42	38	X: -192980.6	Y: 13883.5
		砂砂					
P70	10YR3/3暗褐色		Ⅲ層ブロック(φ1cm)少量。	21~26	26.2	X: -192976.4	Y: 13880.6
P71	10YR2/2黒褐色	砂	ほは均質。	24~32	42.1	X: -192976.0	Y: 13883.5
P72	10YR2/2黒褐色	砂	III 層ブロック (φ1cm) 斑状に堆積。10YR2/2黒褐色砂ブロック (φ1cm) 斑状に含む。	52~60	11.8	X: -192976.4	Y: 13861.7
P73			第9図	27~42	47.2	X: -192978.0	Y: 13862.8
	10YR2/3黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック少量。	27~32	37.6	X: -192976.6	Y: 13847.9
	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。10YR2/2黒褐色砂ブロック(φ1cm)少量。	40	10.3	X: -192976.3	Y: 13850.0
	10YR3/3暗褐色	砂	II層プロック (φ1cm) 斑状に堆積。10YR2/2黒褐色砂プロック (φ1cm) 斑状に含む。	40~49	19	X: -192975.8	Y: 13852.3
P77	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック(φ1cm)少量。	37	37	X:-192974.5	Y: 13851.6
P78	101 R2/2点褐色 10YR3/3暗褐色	砂砂	■	51	18.6	X: -192973.9	Y: 13847.3
F 10	101 K3/ 3唱個巴	119	■	31	10.0	A · - 192915.9	1 · 13047.3
P79	10YR3/3暗褐色	砂	lcm) 斑状に含む。	55~75	15.2	X: -192974.7	Y:13847.3
P80	10YR3/3暗褐色	砂		35~40	36.6	X: -192977.0	Y: 13851.4
P81	10YR2/3黒褐色	粘土質シルト	ほぼ均質。	38~45	23.8	X: -192981.3	Y: 13860.0
P82	10YR2/2黒褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ2cm) 少量。炭化粒 (φ2mm) 少量。	25~30	15.5	X: -192982.9	Y: 13860.0
P83	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) 斑状に下層に堆積。	25~31	22	X: -192984.0	Y: 13860.7
P84	10YR3/4暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック少量。	28	12	X: -192984.1	Y: 13861.6
P85	10YR4/4褐色	砂	Ⅲ層ブロック主体。	24	14.5	X: -192983.4	Y: 13860.2
P86	10YR3/3暗褐色	砂	Ⅲ層ブロック斑状に下層に堆積。	25	15.9	X: -192976.1	Y: 13850.1
P87	10YR2/3黒褐色	砂	<b>Ⅲ</b> 層ブロック (φ1~2cm) を斑状に含む。	16~21	24.7	X: -192976.4	Y: 13850.0
P88			Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。	21~28	40.5	X: -192973.7	Y: 13852.5
	10YR2/3黒褐色	砂	m/d / = / / (\$\P\$   OCIII)	21~28	40.5		
P89		砂砂	Ⅲ層ブロック下層に少量。			X: -192975.3	Y: 13848.6
P89 P90	10YR2/1黒色	砂	Ⅲ層ブロック下層に少量。	39~58	32.1	X: -192975.3 X: -192974.2	Y: 13848.6 Y: 13846.2
P90	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色	砂砂	<ul><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li></ul>	39~58 40~75	32.1 37.7	X: -192974.2	Y: 13846.2
P90 P91	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂	Ⅲ層ブロック下層に少量。 Ⅲ層ブロック下層に少量。 ほぼ均質。	39~58 40~75 43~56	32.1 37.7 34	X: -192974.2 X: -192976.2	Y: 13846.2 Y: 13848.1
P90 P91 P92	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂	<ul><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li><li>ほぼ均質。</li><li>Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。</li></ul>	39~58 40~75 43~56 28~35	32.1 37.7 34 25.8	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0
P90 P91 P92 P93	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色	砂 砂 砂 砂	<ul><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li><li>Ⅲ層ブロック下層に少量。</li><li>ほぼ均質。</li><li>Ⅲ層ブロック (φ1cm) 少量。</li><li>ほぼ均質。</li></ul>	$39\sim58$ $40\sim75$ $43\sim56$ $28\sim35$ $26\sim32$	32.1 37.7 34 25.8 27.3	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3 X: -192973.4	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8
P90 P91 P92 P93 P94	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色	砂 砂 砂 砂	□層プロック下層に少量。 □層プロック下層に少量。 ほぼ均質。 □層プロック (φ1cm) 少量。 ほぼ均質。 ほぼ均質。	$39\sim58$ $40\sim75$ $43\sim56$ $28\sim35$ $26\sim32$ $33$	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3 X: -192973.4 X: -192973.8	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5
P90 P91 P92 P93 P94 P95	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色	砂 砂 砂 砂 砂	□層ブロック下層に少量。 □層ブロック下層に少量。 ほぼ均質。 □層ブロック(φ1cm)少量。 ほぼ均質。 ほぼ均質。 ほぼ均質。 ほぼ均質。 ほぼ均質。	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3 X: -192973.4 X: -192973.8 X: -192974.2	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96	10YR2/1黑色 10YR2/1黑色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色	他 他 他 他 他 他 他	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> </ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3 X: -192973.4 X: -192973.8 X: -192974.2 X: -192984.6	Y:13846.2 Y:13848.1 Y:13852.0 Y:13848.8 Y:13848.5 Y:13848.2 Y:13856.0
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96 P97	10YR2/1黑色 10YR2/1黑色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黑色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>団層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> </ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7 31.1	$\begin{array}{c} X: -192974.2 \\ X: -192976.2 \\ X: -192976.3 \\ X: -192973.4 \\ X: -192973.8 \\ X: -192974.2 \\ X: -192984.6 \\ X: -192972.7 \end{array}$	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2 Y: 13856.0 Y: 13855.8
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96	10YR2/1黑色 10YR2/1黑色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色	他 他 他 他 他 他 他	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□屋ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>・</li> <li>・</li></ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7	X: -192974.2 X: -192976.2 X: -192976.3 X: -192973.4 X: -192973.8 X: -192974.2 X: -192984.6	Y:13846.2 Y:13848.1 Y:13852.0 Y:13848.8 Y:13848.5 Y:13848.2 Y:13856.0
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96 P97	10YR2/1黑色 10YR2/1黑色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黑色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>団層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> </ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7 31.1	$\begin{array}{c} X: -192974.2 \\ X: -192976.2 \\ X: -192976.3 \\ X: -192973.4 \\ X: -192973.8 \\ X: -192974.2 \\ X: -192984.6 \\ X: -192972.7 \end{array}$	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2 Y: 13856.0 Y: 13856.8
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96 P97 P98 P99	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR3/3暗褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□屋ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>・</li> <li>・</li></ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28 32 38~46	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7 31.1 13.8	$\begin{array}{c} X: -192974.2 \\ X: -192976.2 \\ X: -192976.3 \\ X: -192973.4 \\ X: -192973.8 \\ X: -192974.2 \\ X: -192984.6 \\ X: -192972.7 \\ X: -192986.7 \end{array}$	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2 Y: 13856.0 Y: 13856.6
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96 P97 P98 P99	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/2黒褐色 10YR4/3にぶい黄褐色	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□屋ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 数状に含む。</li> </ul>	39-58 40-75 43-56 28-35 26-32 33 36 17-28 32 38-46 35	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7 31.1 13.8 29.6	$\begin{array}{c} X: -192974.2 \\ X: -192976.2 \\ X: -192976.3 \\ X: -192973.4 \\ X: -192973.8 \\ X: -192974.2 \\ X: -192984.6 \\ X: -192972.7 \\ X: -192986.7 \\ X: -192971.8 \end{array}$	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2 Y: 13856.0 Y: 13856.0 Y: 13857.8
P90 P91 P92 P93 P94 P95 P96 P97 P98 P99 P100 P101	10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/1黒色 10YR2/1黒色 10YR2/2黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/3黒褐色 10YR2/2黒褐色 10YR4/3にぶい黄褐色 10YR2/3黒褐色	砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂	<ul> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>□層ブロック下層に少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>ほぼ均質。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 少量。</li> <li>□層ブロック (φ1cm) 斑状に含む。</li> <li>ほぼ均質。</li> </ul>	39~58 40~75 43~56 28~35 26~32 33 36 17~28 32 38~46 35 31	32.1 37.7 34 25.8 27.3 25.8 26.7 28.7 31.1 13.8 29.6 29.4	$\begin{array}{c} X: -192974.2 \\ X: -192976.2 \\ X: -192976.3 \\ X: -192973.4 \\ X: -192973.8 \\ X: -192974.2 \\ X: -192974.2 \\ X: -192984.6 \\ X: -192972.7 \\ X: -192986.7 \\ X: -192971.8 \\ X: -192971.7 \end{array}$	Y: 13846.2 Y: 13848.1 Y: 13852.0 Y: 13848.8 Y: 13848.5 Y: 13848.2 Y: 13856.0 Y: 13856.0 Y: 13857.8 Y: 13878.8 Y: 13878.8

#### (5) 小溝状遺構群 (第26・27図)

今回の調査で検出された小溝状遺構は、合計で99条である。今回見つかった小溝状遺構群は、方位や他の遺構との重複関係などからA~H群の8群に大別された。遺構の時期は古代から、近世まで多岐にわたり、また時期により形状や群内での密集度も異なる。いずれの小溝状遺構群も畑耕作に伴うものであると考えられる。

#### 小溝状遺構A群

ZZ3・A0~A4・B0~B4グリッドで検出された北西 – 南東方向の小溝状遺構である。SM105・106・109・110・113・124・131~133・138の10条で構成される。方位はW-23~44°-Nで、上端幅は22~81cm、遺構検出面からの深さは 1~21cmである。堆積土は黒褐色、暗褐色、褐色の砂で、皿層ブロックを斑状に含む。SL1土塁、SK112・136土坑、小溝状遺構D群と重複しており、いずれの遺構よりも古い。またA群の中でも重複しているものもあり、時期はさらに細分されるものと思われる。特にSM124は $\blacksquare$ a層上面では確認できず、 $\blacksquare$ b層を若干掘り下げた段階で検出されたことから、 $\blacksquare$ a層に伴うものである可能性がある。

遺物は出土していない。重複関係から平安時代以前の畑耕作痕であると考えられる。

遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM105	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SK136> SM105	Ⅲ層ブロック (φ2~3cm) を斑状に含む。	А	W – 26° – N	A1~A2~B2	(9.55)	0.32~0.67	7.4~14.9
SM106	10YR4/4 褐色	砂		Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を斑状に含む。	А	W – 23° – N	A3~A4~B3 ~B4	2.50	0.26~0.38	2.0~6.5
SM109	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM119> SM109	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。 ※=SD134。注記はSD134優先。	А	W – 29° – N	A1~A2~B3	(13.57)	0.20~0.81	10.0~13.8
SM110	10YR3/4 暗褐色	砂	SD107>SM110	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	А	W – 30° – N	B1、B2	(2.97)	0.22~0.55	0.5~10.5
SM113	10YR4/4 褐色	砂	SK112>SM113	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	Α	W – 44° – N	B2、B3	(3.50)	0.30~0.76	9.5~16.1
SM124	10YR3/4 暗褐色	砂	SL1>SD107> SM124	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を下層に少量含む。	Α	W – 41° – N	A1、A2	(0.79)	0.25~0.29	8.6~12.0
SM131	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM131	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。	А	$W - 25^{\circ} - N$	A1~A2~A3	(7.50)	0.36~0.73	7.6~8.4
SM132	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM132	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を下層に少量含む。	Α	W – 33° – N	A2、A3	(6.25)	0.40~0.57	3.4~5.7
SM133	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM133	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	Α	$W-26^{\circ}-N$	A2~ZZ3~A3 ~A4	(6.00)	0.39~0.63	5.0~21.5
SM138	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM138	ほぼ均質。	A	E – 27° – S	A0~B0~A1 ~B1	(3.08)	0.22~0.30	8.0

表 4 小溝状遺構A群 土層註記表

#### 小溝状遺構B群

 $ZZ4\sim7\cdot A4\sim8\cdot B5\sim7$ グリッドで検出された北東 – 南西方向の小溝状遺構である。 $SM80\sim82\cdot99\sim101\cdot108\cdot128\cdot130$ の 9 条で構成される。方位は $N-0\sim20^\circ$ -Eで、上端幅は $Z7\sim71$ cm、遺構検出面からの深さは  $Z7\sim1$ cmである。堆積土は黒褐色、暗褐色の砂で、 $Z7\sim1$ 00 を斑状に含む。 $Z7\sim1$ 0 を短状に含む。 $Z7\sim1$ 0 を重複しており、 $Z7\sim1$ 0 を重複しており、 $Z7\sim1$ 0 を重複しており、 $Z7\sim1$ 0 を重複しるっているものもあり時期はさらに細分されるものと考えられる。

遺物は出土していない。灰白色火山灰が堆積しているSK102よりも古く、またその他の遺構との重複関係から平 安時代以前の畑耕作痕であると考えられる。

遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM80	10YR3/3 暗褐色	砂	SL1>SM80	Ⅲ層ブロック (φ1cm) が下層に斑状に堆積。	В	N −12° − E	ZZ7~A7~B7	(6.88)	0.27~0.43	4.1~11.3
SM81	10YR3/3 暗褐色	砂	SL1>SK92>SM81	Ⅲ層ブロック (φ1cm) が下層に斑状に堆積。	В	N −20° − E	ZZ6~A6~B6	(10.04)	0.41~0.58	3.6~18.6

表5-1 小溝状遺構B群 土層註記表 (1)



表5-2 小溝状遺構B群 土層註記表 (2)

遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM82	10YR3/3 暗褐色	砂	SL1>SK103>SM82	Ⅲ層ブロック(φ1cm)が下層に斑状に堆積。	В	N – 12° – E	ZZ6~A6~B6	(9.15)	0.52~0.81	7.6~22.0
SM99	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM99	Ⅲ層ブロック(φ1cm)が下層に斑状に堆積。	В	N - 12° - E	ZZ5~A5~B5	(9.05)	0.35~0.60	4.4~21.0
SM100	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM100	Ⅲ層ブロック (φlcm) が下層に斑状に堆積。	В	N - 7° - E	A5、B5	(2.07)	0.17~0.34	4.0~10.6
SM101	10YR3/4 暗褐色	砂	SL1>SM99, SK93>SM101	Ⅲ層ブロック (φ1cm) が下層に斑状に堆積。	В	N – 12° – E	ZZ5~A5~B5	(8.80)	0.22~0.42	7.7~14.7
SM108	10YR4/4 褐色	砂	SK102、SM104> SM108	Ⅲ層ブロック (φ2~3cm) を斑状に含む。	В	N - 9° - E	A4~B3~B4	(5.95)	0.09~0.28	3.6~6.7
SM128	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM128	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。	В	N - 0° - E	A8	1.06	0.31~0.42	28.8~32.0
SM130	10YR2/3 黒褐色	砂	SL1>SM130	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。	В	N −15° − E	ZZ4、A4	(3.64)	0.33~0.73	1.4~13.0

#### 小溝状遺構C群

C3・C5・D5グリッドで検出された北東 – 南西方向の小溝状遺構である。SM121~123・125の 4 条で構成される。 方位はN-44°-E~N-9°-Wで、上端幅は20~49cm、遺構検出面からの深さは6~20cmである。 堆積土は暗褐色の砂で、 皿層ブロックを含む。 小溝状遺構D群とH群と重複しており、これらよりも古い。

遺物は出土していない。B群と方位が近いことから、その延長である可能性がある。他の遺構との重複関係から 平安時代以前の畑耕作痕であると考えられる。

検出長 検出幅 深さ 潰構名 色調 新>旧 備考・混入物 角度 グリッド (m) (m) (cm) SM121 10YR3/3 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1cm) を下層に少量含む。 N - 44° - E 0.38~0.49 6.5~9.2 D5(0.54)SM122 10YR3/3 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。 N – 15° – E 0.33~0.43 7.2~20.8 SM123 10YR3/3 暗褐色 SM120>SM123 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。 N −15° − E C5、D5 0.20~0.33 SM111、116> SM125 10YR3/3 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。  $N-9^{\circ}-W$ СЗ (0.80)SM118>SM125

表6 小溝状遺構C群 土層註記表

#### 小溝状遺構D群

A2・A8~9・B3~4・D5グリッドで検出された北東 - 南西方向の小溝状遺構である。SM44・104・119・120・129の5条で構成される。方位はN-45~70°-Eで、上端幅は20~50cm、遺構検出面からの深さは2~30cmである。 堆積土は黒褐色、暗褐色、にぶい黄褐色の砂で、Ⅲ層ブロックを斑状に含む。SL1土塁、小溝状遺構A、B、C群と重複しており、小溝状遺構群より新しく、SL1よりも古い。またD群の中でも重複しあっているものもあり時期はさらに細分されるものと考えられる。

遺物はSM120から須恵器の坏の底部が出土している (第28図1)。底部の切り離し調整が回転ヘラ切りであることから、8世紀代であると考えられる。

出土遺物と他の遺構との重複関係から、古代から近世以前にかけての畑耕作痕であると考えられる。

検出長 検出幅 深さ 潰構名 色調 土質 新>旧 備考・混入物 角度 グリッド (m) (m) (cm) SL1>SM129> SM44 10YR3/4 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を斑状に含む。 D N -45° - E A8, A9 (2.05) 0.30~0.50 10.4~19.0 SM44 SM104 10YR4/3 にぶい黄褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を斑状に含む。 D E - 30° - N В3、В4 0.31~0.38 2.1~30.5 SM119 10YR3/3 暗褐色 Ⅲ層ブロック (ø1cm)を下層に少量含む。 N - 30° - E (1.17)0.3~0.43 4.6~9.8 E - 25° - N SM120 10YR2/3 黒褐色 Ⅲ層ブロック (ø1cm) を下層に少量含む。 0.34~0.50 5.7~9.4 SM129 10YR2/3 黒褐色 SL1>SM129 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。 E - 20° - N A8, A9 0.20~0.27 5.2~10.0

表7 小溝状遺構D群 土層註記表

#### 小溝状遺構E群

B8~9・C7~9・D8~9グリッドで検出された北西 - 南東方向の小溝状遺構である。SM6・20・22・27~37・39 ~43・47~54・57~59・62~66・69~73・77・83・84・86~90・95・97の50条で構成される。方位はN-6°-E~N-42°-Wで、蛇行するものもある。上端幅は10~50cm、遺構検出面からの深さは1~22cmである。堆積土は暗褐色の砂が主体的で、他には黒褐色、褐色の砂で、Ⅲ層ブロックを斑状に含むものが多い。

SD16、26溝跡と、SK76土坑、小溝状遺構H群と重複しており、SD16とSK76より新しく、他の遺構よりも古い。またE群の中でも複雑に重複しあっているものもあり、時期はさらに細分されるものと考えられる。

遺物は出土していない。他の遺構との重複関係から、近世以前の畑耕作痕であると考えられる。

表8-1 小溝状遺構E群 十層註記表(1)

			<b>衣</b>	8 – 1	小溝状遺構E	群 土層註記	区	(1)				
遺構名	色調	土質	新>旧		備考・混入	物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM6	10YR2/2 黒褐色	粘土質 シルト	SD14>SM6	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) を生	/量含む。	Е	N - 5° - W	D9, E9	(3.76)	0.27~0.50	0.5~13.8
SM20	10YR2/3 黒褐色	砂質 シルト	SD26>SM20	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) を生	/量含む。	Е	N - 3° - E	В8, В9	2.28	0.28~0.38	3.4~15.8
SM22	10YR3/4 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) を生	/量含む。	Е	N - 8° - E	D8	0.71	0.21~0.30	12.8
SM27	10YR2/3 黒褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) が7	「層に斑状に堆積。	Е	N - 7° - W	С9	0.67	0.15~0.29	6.4~9.4
SM28	10YR2/3 黒褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) がヿ	「層に斑状に堆積。	Е	N – 13° – W	C9	0.72	0.28	6.2
SM29	10YR2/3 黒褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) が7	「層に斑状に堆積。	Е	N - 0° - E	С9	1.28	0.25~0.42	5.6~9.0
SM30	10YR4/4 褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク主体。		Е	N - 2° - W	D9	1.50	0.28~0.39	2.4~7.1
SM31	10YR2/3 黒褐色	砂	SM15>SM31	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~1cm) がヿ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 6° - W	C9, D9	2.56	0.33~0.50	4.9~10.5
SM32	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM33> SM32	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) がヿ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 1° - E	С9	(1.54)	0.25~0.30	10.9
SM33	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM33	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がヿ	「層に斑状に堆積。	Е	N – 15° – E	C9	(1.76)	0.32~0.41	10.5~18.6
SM34	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM35> SM34	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がヿ	「層に斑状に堆積。	Е	N -5° - E	C8、C9	(2.47)	0.35~ (0.87)	4.4~11.0
SM35	10YR2/3 黒褐色	砂	SM15、SD26> SM31、36>SM35	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	>量含む。	Е	N -8° -W	C8、C9、D9	(5.97)	0.27~0.40	3.6~12.1
SM36	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM36	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がつ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 0° - E	C8	(2.24)	0.30~0.48	4.3~8.6
SM37	10YR3/2 黒褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	>量含む。	Е	N - 5° - W	C8	0.92	0.30~0.41	9.1
SM39	10YR3/2 黒褐色	砂	SM37>SM39	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	)量含む。	Е	N - 9° - W	C8	(1.95)	0.30~0.44	4.2~9.3
SM40	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM40	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) が7	「層に斑状に堆積。	Е	N −10° − W	C8	(3.64)	0.23~0.45	0.9~11.9
SM41	10YR4/4 褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク主体。		Е	N - 3° - W	C8、D8	3.01	0.23~0.42	3.5~7.9
SM42	10YR4/4 褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク主体。		Е	N - 5° - E	D8	1.56	0.35~0.40	5.9~6.4
SM43	10YR3/3 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	>量含む。	Е	N -4° - W	В9	1.46	0.18~0.25	11.7~14.9
SM47	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM47	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がつ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 21° - W	C8	(1.87)	0.29~0.42	5.1~9.0
SM48	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM48	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がつ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 1° - W	C7	(1.21)	0.30~0.38	3.9~11.5
SM49	10YR3/3 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) が7	「層に斑状に堆積。	Е	N - 35° - W	C7	0.83	0.44	8.1~9.6
SM50	10YR3/3 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がつ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 3° - E	C8、D8	1.08	0.31~0.41	6.2~7.6
SM51	10YR3/4 暗褐色	砂	SM52>SM51	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がつ	「層に斑状に堆積。	Е	N - 5° - W	C8、D8	2.77	0.29~0.44	6.7~13.0
SM52	10YR3/4 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) が7	「層に斑状に堆積。	Е	N -41° - W	C8	1.34	0.44	8.0~9.7
SM53	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM53	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	)量含む。	Е	N - 7° - W	C7	(1.33)	0.3~0.38	7.9~11.3
SM54	10YR3/4 暗褐色	砂	SD14>SM54	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生	>量含む。	Е	N - 2° - E	C8、D8	(2.27)	0.51~0.65	6.5~9.4
SM57	10YR3/3 暗褐色	砂	SD26>SM57	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がT	層に斑状に堆積。	Е	N - 22° - W	C7	(1.57)	0.33~0.41	10.3~13.4
SM58	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM37> SM58	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がT	層に斑状に堆積。	Е	N - 18° - W	C8	(1.18)	0.26~0.35	3.7~9.5
SM59	10YR3/4 暗褐色	砂	SM58、83> SM59	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~3cm) がT	層に斑状に堆積。	Е	N -6° - W	C8	(3.53)	0.19~0.40	2.9~5.0
SM62	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM62	Ⅲ層ブロッ	ク (φ1~2cm) を生		Е	N -7° - W	C7	(2.31)	0.23~0.35	8.9~14.3

表8-2 小溝状遺構E群 土層註記表 (2)

					_					
遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM63	10YR2/3 黒褐色	砂	SK56>SM63	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	Е	N - 28° - W	C7	(0.84)	0.32	12.0~17.5
SM64	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM64	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	Е	N -6° - W	В9	(1.96)	0.41~0.57	9.6~22.4
SM65	10YR3/3 暗褐色	砂		Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)を少量含む。	Е	N - 3° - W	C9	0.59	0.24~0.25	6.0~6.4
SM66	10YR2/3 黒褐色	砂	SK5>SD14、 SM15>SM66	Ⅲ層ブロック(φ1~2cm)を少量含む。	Е	N -6° - W	C9、D9	(3.88)	0.38~0.59	1.9~8.5
SM69	10YR3/4 暗褐色	砂	SM61>SM69	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	Е	N - 2° - W	C7	2.17	0.22~0.30	2.5~15.5
SM70	10YR3/3 暗褐色	砂	SM61>SM69> SM70	Ⅲ層ブロック(φ1cm)が下層に斑状に堆積。	Е	N −42° − W	C7	(1.76)	0.22~0.31	2.6~8.5
SM71	10YR3/3 暗褐色	砂	SK5、SM15> SM71	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を少量含む。	Е	N - 0° - E	C9、D9	(0.91)	0.25~0.48	4.7~11.2
SM72	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM72	Ⅲ層ブロック (φ1cm) が下層に斑状に堆積。	Е	N -5° - E	B8	(1.02)	0.32~0.40	5.7~13.4
SM73	10YR3/3 暗褐色	砂	SD36、38>SM73	Ⅲ層ブロック(φlcm)を少量含む。	Е	N - 2° - W	C8	(1.30)	0.28~0.40	2.8~5.8
SM77	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM88> SM77	Ⅲ層ブロック(φ1cm)が下層に斑状に堆積。	Е	N - 0° - E	C7	(1.84)	0.35~0.93	3.2~17.3
SM83	10YR3/3 暗褐色	砂	SD26>SM40> SM83	Ⅲ層ブロック(φ1cm)が下層に斑状に堆積。	Е	N – 16° – E	C8	(1.17)	0.13~0.32	5.9
SM84	10YR3/3 暗褐色	砂	SM36, 73>SM84	Ⅲ層ブロック(φlcm)を少量含む。	Е	N − 10° − E	C8	(1.30)	(0.19)	3.0
SM86	10YR3/3 暗褐色	砂	SM35、38>SM86	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	Е	N - 0° - E	C8	(1.34)	0.25	4.0~6.5
SM87	10YR3/3 暗褐色	砂	SM15>SM87	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。	Е	N - 22° - W	C9	(1.45)	0.18~0.31	5.8~9.4
SM88	10YR3/4 暗褐色	砂	SD26>SM57> SM88	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	Е	N – 34° – E	C7	(0.50)	0.38	2.2~7.7
SM89	10YR2/3 黒褐色	砂	SD26>SM48> SM89	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	Е	N – 16° – W	C7	(1.06)	(0.60)	5.2~9.9
SM90	10YR3/3 暗褐色	砂	SD26>SM47> SM90	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	Е	N − 25° − W	C7、C8	(1.82)	0.24	3.3~9.8
SM95	10YR3/3 暗褐色	砂	SM34、35>SM95	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。	Е	N - 9° - W	C8、C9	(1.42)	0.30	6.3
SM97	10YR3/3 暗褐色	砂	SD26>SM36> SM97	Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。	Е	N - 0° - E	C9	(1.80)	0.35~0.46	3.7~7.7

#### 小溝状遺構F群

B9~10・C9~10グリッドで検出された東西方向の小溝状遺構である。SM67・68・74・94の 4 条で構成される。 方位はE-6°-S~E-5°-Nで、上端幅は33~55cm、遺構検出面からの深さは 3~10cmである。堆積土は暗褐色の砂で、 Ⅲ層ブロックを含む。SD10、11、16溝跡と重複しており、これらよりも古い。

遺物は出土していない。他の遺構との重複関係から近世以前の畑耕作痕であると考えられる。

表 9 小溝状遺構F群 土層註記表

遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM67	10YR3/4 暗褐色	砂	SD11, SM12> SM67	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm)を少量含む。	F	E -5° - N	C9、C10	(2.56)	0.33~0.45	3.0~10.1
SM68	10YR3/4 暗褐色	砂	SD11>SM68	Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。	F	E -6° - S	C10	(1.27)	0.38~0.49	3.5~7.9
SM74	10YR3/4 暗褐色	砂	SD11>SM74	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	F	E -5° - S	C9、C10、D9、 D10	(2.48)	0.41~0.60	2.6~6.7
SM94	10YR3/3 暗褐色	砂	SD10、16>SM94	Ⅲ層ブロック(φ1cm)を斑状に含む。	F	E - 0° - S	B9、B10	(2.32)	0.50~0.55	3.1~5.6

#### 小溝状遺構G群

B9・C9グリッドで検出された南北方向の小溝状遺構である。SM12・13の 2 条より構成される。方位はN-0~1°-Eで、上端幅は38~68cm、遺構検出面からの深さは  $4\sim$ 18cmである。堆積土は暗褐色、褐色の砂質シルトで、 $\blacksquare$  層ブロックを斑状に含む。SD26溝跡と、小溝状遺構F群と重複しており、いずれの遺構よりも新しい。

遺物は出土していない。他の遺構との重複関係から、近世以降の畑耕作痕であると考えられる。

表10 小溝状遺構G群 土層註記表

遺構名	色調	土質	新>旧	備考・混入物	群	角度	グリッド	検出長 (m)	検出幅 (m)	深さ (cm)
SM12	10YR3/4 暗褐色	砂質 シルト		Ⅲ層ブロック(φ1~3cm)を少量含む。	G	N - 0° - E	В9、С9	4.22	0.54~0.66	4.2~18.0
SM13	10YR3/4 暗褐色	砂質 シルト	SM12>SM13	Ⅲ層ブロック(φ1~3cm)を少量含む。	G	N - 1° - E	в9、С9	5.08	0.30~0.64	7.4~10.9

#### 小溝状遺構H群

C2~9・D6・D7・D9・D10・E9・E10グリッドで検出された東西方向の小溝状遺構である。SM7~9・15・23・38・45・46・60・61・98・111・116~118の15条で構成される。方位はE-20°-N~E-30°-Sで、上端幅は12~80cm、遺構検出面からの深さは2~18cmである。SM98の底面からは耕作の痕跡が検出されている。堆積土は黒褐色、暗褐色、褐色の粘土質シルト、砂質シルト、砂で、Ⅲ層ブロックを含む。小溝状遺構F群と重複しており、これよりも新しい。

遺物は出土していない。他の遺構との重複関係から、近世以降の畑耕作痕であると考えられる。

検出長 検出幅 遺構名 色調 土質 新>旧 備考・混入物 群 角度 グリッド (m) (m) (cm) 粘土質 SM7 10YR2/2 里褐色 Ⅲ層ブロック (φ2~4cm) を少量含む。 H E -7° - S F0 1.30 0.25~0.28 2.0~3.5 砂質 SM8 10YR3/4 暗褐色 Ⅲ層ブロック(め1~3cm)を少量含む。 H E -20° - N E9, E10 (3.25)0.34~0.55 2.0~5.5 砂質 SM9 10YR2/2 里褐色 Ⅲ層ブロック(ø1~3cm)を少量含む。 H E -5° - S E9, E10 (3.34)0.20~0.33 4.5~6.0 砂質 10YR2/3 黒褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を少量含む。 H E −10° − S 0.25~0.45 7.1~11.1 SM15 C9 4.36 シルト 10YR2/3 黒褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。 H E -5° - S D8 0.40 11.5~17.6 SM23 1.25 10YR3/2 黒褐色 H E-4°-N C8, C9 SM38 Ⅲ層ブロック(め1~2cm)を少量含む。 (1.55) 0.28~0.38 3.0~5.2 H E -15° - S 10YR3/3 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。 0.20~0.40 | 9.7~10.8 10YR3/3 暗褐色 H E -30° - S Ⅲ層ブロック (ø1~3cm) が下層に斑状に堆積。 D7 0.35~0.43 8.8~13.3 SM60 10YR3/4 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) が下層に斑状に堆積。 H E-12-N D6, D7 0.38~0.69 4.4~9.9 Ⅲ層ブロック (φ1~2cm) を少量含む。 10YR3/4 暗褐色 H E-1°-N D6, C7, D7 0.27~0.53 2.7~7.6 SM61 6.20 SM98 10YR4/4 褐色 Ⅲ層ブロック主体。耕作痕あり。 H E -5° - S C4~C6 0.12~0.60 0.8~8.0 8.60 Ⅲ層ブロック (φ1~5cm) が層状に堆積。下面に耕 E - 1° - S SM111 10YR2/3 黒褐色 C2~C4 0.45~0.80 4.5~17.9 6.00 砂 H E - 19° - S SM116 10YR3/3 暗褐色 砂 Ⅲ層ブロック主体。 C3 0.22~0.33 4.5~5.7 1.77 SM117 10YR3/4 暗褐色 Ⅲ層ブロック (φ1~3cm) を斑状に含む。 H E - 17° - S 砂 C4 1.96  $0.24 \sim 0.37$  $3.5 \sim 8.0$ H E -5° - N SM118 10YR3/4 暗褐色 SM116>SM118 Ⅲ層ブロック主体。 C3 (3.75)0.20~0.39 5.5~8.2 砂

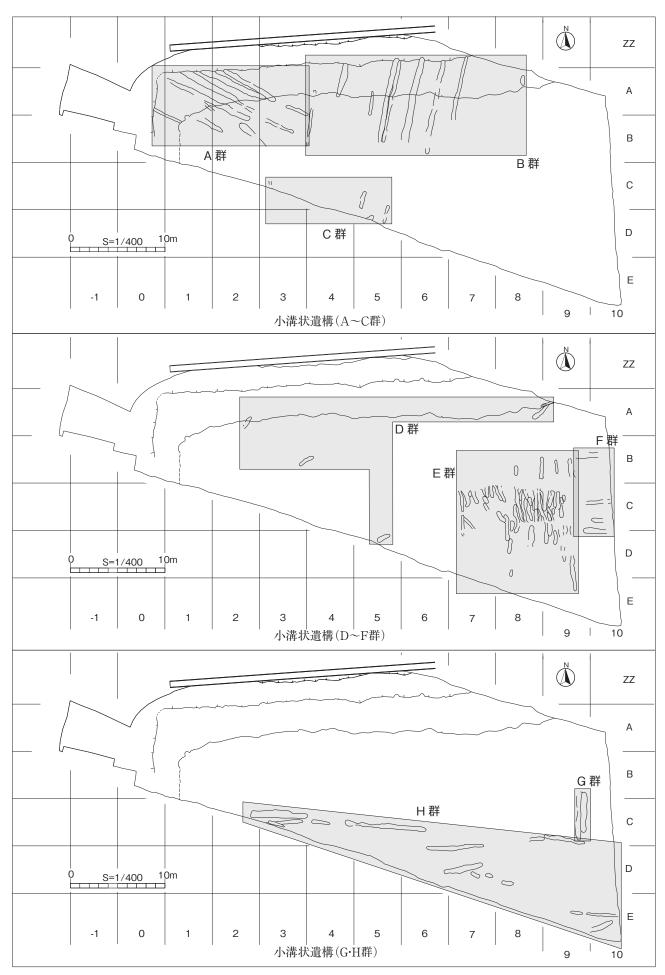
表11 小溝状遺構H群 土層註記表

### (6) 調査区一括出土遺物

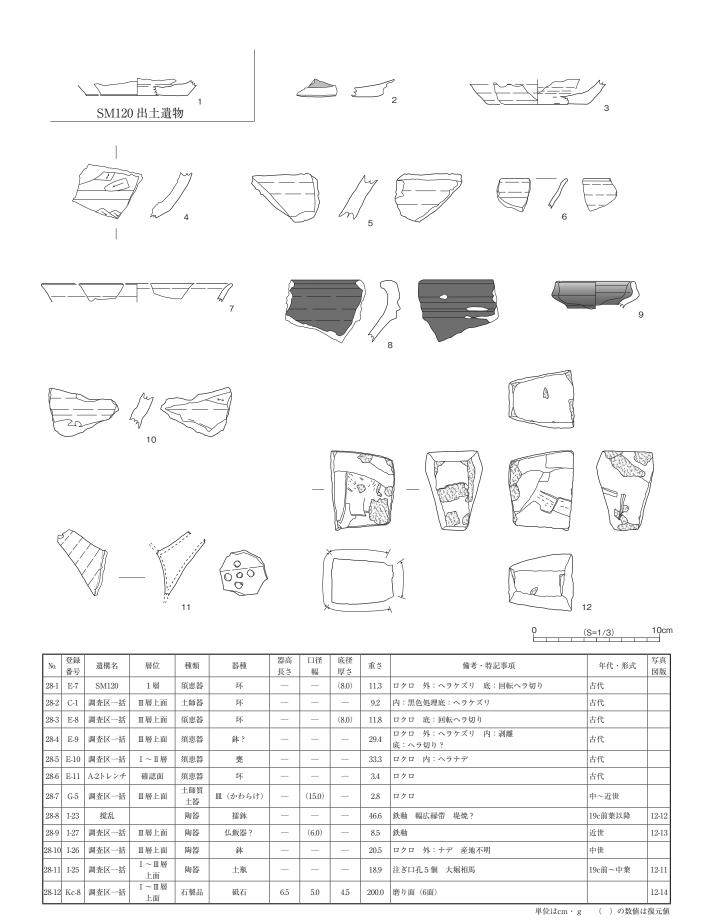
遺構に帰属するもの以外の遺物としては、調査区の西側、土塁に近い範囲を中心に基本層 I ~Ⅲ層上面から一定数の遺物が出土した。今回はその内の13点を掲載した(第28・29図、写真図版12-11~16)。

土師器の坏C-1(第28図 2)は底部付近の破片で、微細資料ではあったが、今回出土した古代の遺物は須恵器が大部分を占める中で唯一図化した土師器である。また須恵器は底部回転ヘラ切り調整の坏E-8(第28図 3)や、薄手の坏の口縁部、鉢、甕などが出土している。

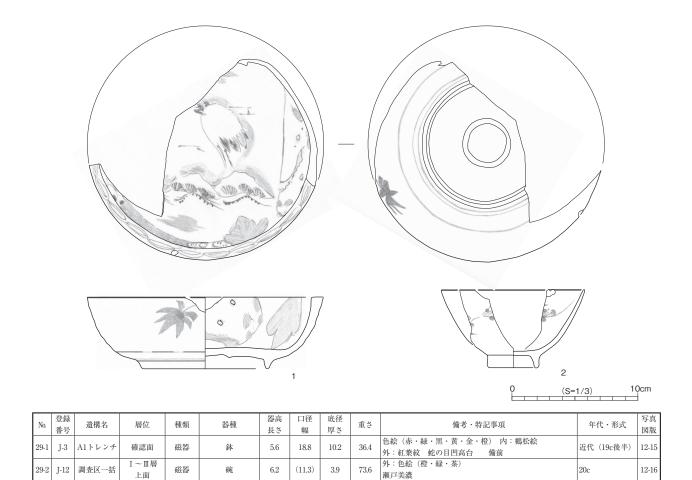
中世の遺物は、陶器の鉢の破片I-26(第28図10)が出土している。胎土に白色の鉱物類が混入しており、また赤褐色を呈することから在地産の可能性がある。帰属時期は不明だが、土師質土器の皿(かわらけ)G-5(第28図7)は比較的胎土が均一で、体部は薄手で焼成も良く、色はやや白みを帯びている。



第27図 小溝状遺構群配置図(S=1/400)



第28図 SM120・調査区一括出土遺物(1)



第29図 調査区一括出土遺物(2)

単位はcm・g ( )の数値は復元値

近世の遺物は、鉄釉の施された擂り鉢の口縁部I-23(第28図8)や大堀相馬の土瓶の注口部I-25(第28図11)等が出土している。また近代の磁器の鉢J-3(第29図1)は、内面に鶴松絵が描かれており、塗金も用いられている。今回調査区の遺構以外から出土した資料の時期は、古代から中世、近世、近現代であり、これは各遺構から出土した資料の時期ともおおよそ合致する。

## 第3章 総 括

今回の発掘調査では、土塁や堀跡、溝跡、土坑、ピット(小柱穴)など、合計で243基の遺構が発見された。また遺物も、弥生土器、土師器、須恵器、中・近世陶磁器、石製品(砥石等)などが出土したことから、遺跡はこれまで認識されていたよりも、幅広い時期にわたり利用されていたことが判明した。しかし大部分の遺構は出土遺物に乏しく、遺構検出面も基本層第Ⅲ層のみで、重層的な遺構検出ではなかったことから、それぞれの遺構の年代を単独で比定することは難しい。よって今回は各遺構の重複関係と、一部の遺構の堆積土中に含まれる灰白色火山灰などを指標とし、遺構のおおよその年代と、各遺構の関係について整理しつつ、調査区全体から出土した遺物の年代ともあわせて各遺構の年代について検討を行う。また試掘調査の際発見された一部の遺構との関係についても検討を行う。

## 第1節 検出遺構と出土遺物

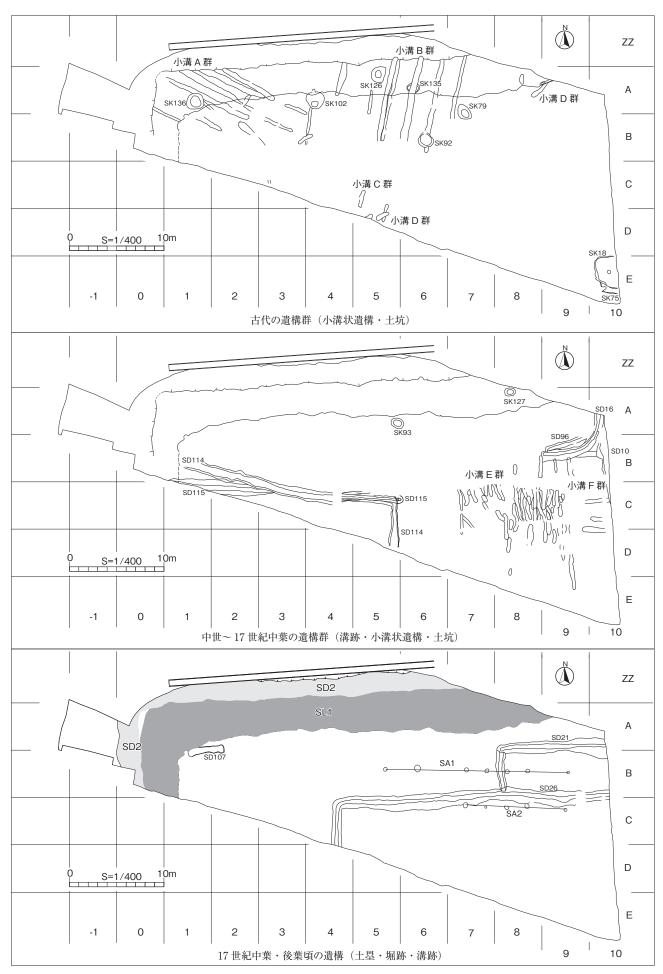
今回の調査で見つかった遺構でもっとも古い時期の遺物は、SD26溝跡から出土した弥生土器B-1 (第19図5)である。発見されたのは底部から体部にかけての破片で、体部には直径 1 mmほどの細かな縄文が施文され、底部には木葉痕と思われる痕跡が存在する。胎土中には白色透明ガラス質の鉱物粒や、黒色の鉱物粒が多く混入する。SD26が他の出土遺物の年代から17世紀中~後葉に比定されることから、他所から混入した遺物であると考えられる。他の弥生時代の遺物は、破片資料でも発見することはできず、また当該期に比定される遺構も検出されなかった。

古代と推定される遺構、もしくは可能性がある遺構は、小溝状遺構A~D群とSK18・75・79・92・102・126・135・136土坑である(第30図)。土坑のうちSK18・79・102・126の堆積土の上層に灰白色火山灰が堆積した層が確認されたことから、10世紀初頭には埋没した遺構であると考えられる。またこれらの土坑と重複し、より古い時期の土坑も、ほぼ同時期かそれよりも遡る時期の遺構であると考えられる。小溝状遺構A・B群は、重複関係から上記の土坑の大部分よりも古いことが確認された遺構である。SK135は小溝状遺構B群よりも古いことが確認された。小溝状遺構A群のうちSM124は他の遺構よりも古く、また基本層第 $\blacksquare$ b層を若干掘り下げたところで検出されたことから、基本層第 $\blacksquare$ a層に伴う掘り込みである可能性がある。また小溝状遺構C群はB群と方位がほぼ一致することから、同一の遺構であるものと考えられる。重複関係から、小溝状遺構D群はB・C群より新しいことが確認されている。

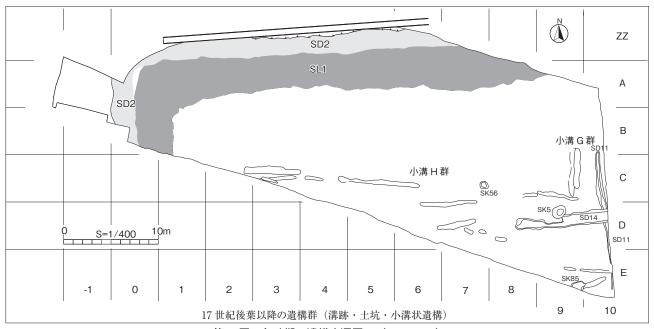
当該期の出土遺物は土師器および須恵器で、確認された器種は、土師器は内面黒色処理された坏、須恵器は坏、瓶類、甕、捏鉢などである(第33図)。これらのうち時期が比定可能なのは須恵器の坏で、ヘラ切り調整が施され、比較的底面が厚い8世紀代のものと、口縁部のみの資料だが比較的薄手で、やや外反する9世紀後半以降のものが存在する。小溝状遺構D群に所属するSM120小溝状遺構からは、8世紀代と考えられる須恵器の坏の底部E-7(第28図1)が出土していることから、SM120は8世紀代以降の年代であると考えられる。

古代に比定される小溝状遺構が一定数検出されたことから、古代においては畑として利用されていたものと考えられる。またそれらと同時期の遺物が一定量出土したことは、当該地周辺に集落などの存在も予想される。

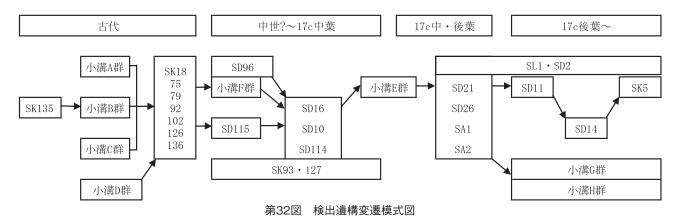
今回調査区内の各遺構および調査区一括資料として、中世の遺物も一定数出土している。出土したのは、常滑、渥美、在地産の甕、もしくは壺などの大形の器種と龍泉窯系の青磁連弁紋碗である(第33図)。この内SD26溝跡から出土した渥美の壺I-16(第19図 6)は、内・外面および割れ口を含め、4面が砥石とて再利用されている。出土



第30図 各時期の遺構変遷図1 (S=1/400)



第31図 各時期の遺構変遷図2 (S=1/400)

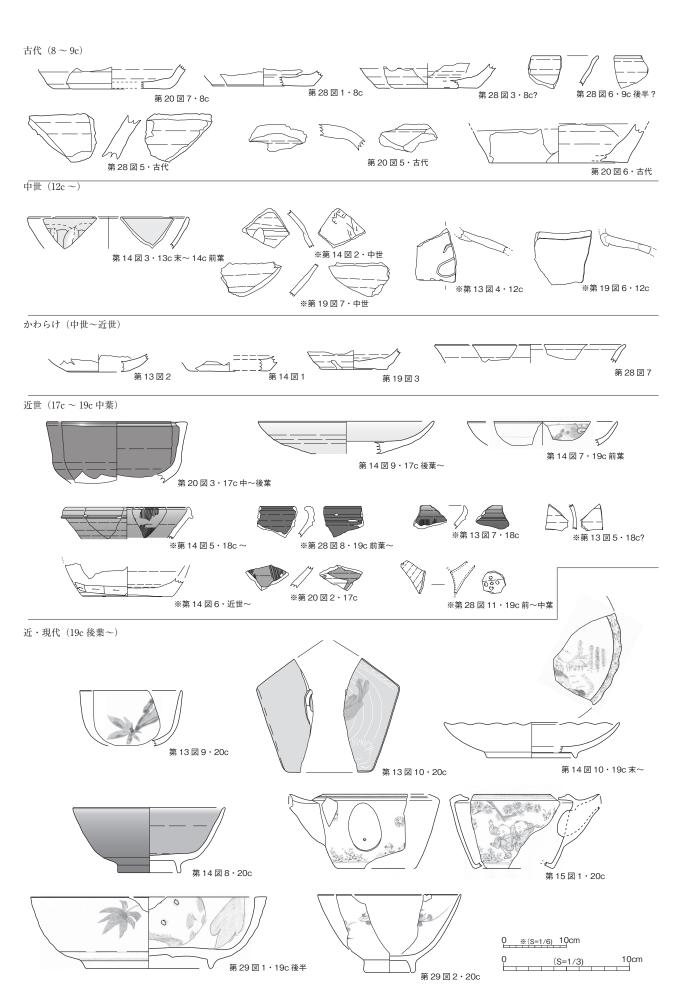


遺物の内、年代が判明する物は、おおよそ12世紀後半から14世紀前半までの時期に収まる。

また今回発見された溝跡と小溝の中には、後述するSL1土塁とSD26溝跡よりも明らかに古い遺構が含まれている。両者は17世紀中~後葉の時期に構築されたと考えられる遺構であることから、それ以前の遺構であると考えられる。またSL1よりも古く、古代の土坑とは堆積土が異なり、黒色、もしくは黒褐色のシルト等で構成される一部の土坑についても当該期と同時期の可能性がある。この時期に該当する遺構、もしくは可能性がある遺構は、区画溝跡と考えられるSD10・16・96・114・115溝跡と、SK93・127土坑、小溝状遺構E・F群である。これらの遺構と出土遺物の存在は、和田氏が蒲生に入部する以前にこの地域が何らかの形で利用されていた可能性を示唆するものであるといえる。

また調査区内からは土師質土器の皿(かわらけ)が若干ながらも出土している(第33図)。いずれもロクロ成形によるものである。これらのうちSD21溝跡から出土したG-4(第19図 3)は、左回転の底部回転糸切り調整で、胎土も比較的緻密で内外面とも橙色を呈する。外面は底部からやや急に立ち上がった後に緩やかに立ち上がり、体部を形成している。内面は底部から体部が立ち上がる境に浅い凹みが見込状に巡る。また体部と底部の厚さには差がある。この資料についても具体的な年代を付加することはできないが、SD21溝跡が17世紀中~後葉の頃の遺構であると考えられることから、その頃か、それ以前の時期に比定されるものと思われる。

近世の17世紀中葉~後葉に比定される遺構は、SL1土塁、SD2堀跡、SD21・26・107溝跡、SA1・2柱列などである。 SL1とSD2からの出土遺物は、古代から近世にまでわたるが、構築された年代は、SD2の第3層からは近世以降の



第33図 各時期出土遺物

陶器の甕I-15(第14図6)が出土しており、SD2が埋没したその上層からは18~20世紀代の遺物が出土していることから、SL1とSD2が構築されたのは18世紀以前であると考えられる。さらに出土した近世の遺物の中で最も古い時期のものが17世紀後葉以降の肥前の見込蛇の目釉ハギの皿J-8(第14図9)であることから、SL1とSD2は遅くとも17世紀後葉には築造されていたものと推定される。

区画溝跡であるSD26からは、岸窯系の鉄釉二重掛がなされた鉢I-19(第20図3)が出土している。年代は17世紀中~後葉である。またこれ以外にも岸窯系の鉄釉擂鉢I-16(第20図2)が出土しており、時期は17世紀代と考えられる。これらの遺物とSL1、SD2の推定構築時期が同時期であること、またSD26とSL1、SD2、SD21、SA1・2は方位がほぼ一致することから、これらの遺構はほぼ同時期に構築されたものと考えられる。しかしSD21とSD26からはそれより後の時代の遺物はまったく出土していないことから、比較的早い段階で埋没したものと考えられる。

これらの遺構が形成されたと考えられる17世紀中~後葉の時期は、和田氏が蒲生村に「在所」として知行地を拝領した延宝元年(1673)ともほぼ一致することから、これらの遺構の形成に和田氏が深く関わりあっていたことを示唆するものである。

17世紀後葉以降に比定される遺構としては、区画溝跡であるSD11・14溝跡とSK5・56・85土坑があげられる。またSL1土塁とSD2堀跡も当該期にも機能していたものと推測される。遺物は大部分がSL1とSD2からの出土で、特にSD2は溝本体が埋没した後もその上層に遺物を投棄した様子が窺える。遺物の大部分は陶磁器である。時期は18世紀から20世紀にわたるまでほぼ満遍なく出土しており、遺物の出土量はもっとも多い。区画溝跡であるSD11は現在の地境に並行する形で検出されており、現代の区割りが当該期にまでさかのぼる可能性がある。

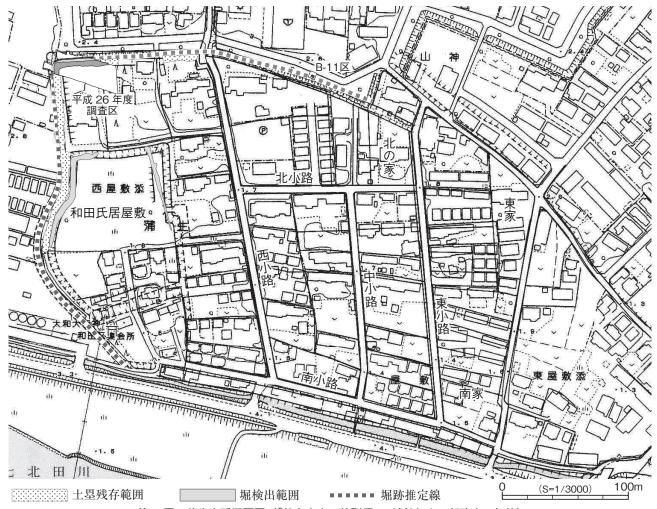
## 第2節 まとめ

前述したように、今回の調査では和田織部館跡西側の土塁と堀跡などを中心に調査を行い、土塁や堀跡などは17世紀中~後葉頃の年代を導き出すことができた。この年代は和田氏が当地を「在所」として拝領し、入部した年代とほぼ重なり合うことから、現在も残る土塁などはその際に構築されたものであると考えられる。またSD2堀跡の延長と考えられる遺構は、平成25年度の試掘・確認調査のB-11区からも検出されている(第7・34図)。堀跡は現在の字境ともほぼ重なり、遺跡の北側と西側に巡ることが予想されてきていたが、今回の発掘調査でその存在を裏付けることができた。この堀跡がどこまで伸びるかなどについてはいまだ不明な点が多く、これについては今後の周辺の調査を待ちたい。

SL1土塁に関しては調査区の北側から、遺跡の西側にかけて残存することが知られていたが、今回遺跡内の詳細な地形測量を行ったところ、さらに東側に通称「西小路」と接する道路付近まで、現在の住宅地により途切れてはいるものの、地形の高まりがわずかながらも確認されたことから、土塁がこの部分まで延長していたことが今回新たに判明した(第34図・別添図)。この部分は現在も道路が屈曲した形で残っており「枡形虎口」が存在していた可能性が指摘されている(仙台市史編さん委員会2006)。

また今回の調査ではSL1土塁よりも古い区画溝や土坑などの遺構が確認されたことも大きな成果であるといえる。これらの遺構については遺物から年代を窺うことはできなかったが、SL1よりも古いことから中世から17世紀中葉以前の遺構群であると考えられる。

当地周辺は、和田氏の居屋敷とともに、北小路、東小路、南小路、西小路、中小路と呼ばれる道路が存在し、この中をさらに細かく区割りして和田氏家臣の家中屋敷が配されていたとされているが、これは現況の地境などからもその様子を窺うことができる。この家臣の方の家の伝承を今回の調査の際に地元の方から窺うことができたが、家によっては今から270年以上前や、350年以上前から続き、和田氏が当地に入部する以前や、伊達政宗が仙台を築



第34図 蒲生在所概要図(「仙台市史 特別編7 城館」を一部改変・加筆)

く前から存続している家もあると言われる内容が含まれていた。今回発見された土塁や堀跡よりも古い遺構群は、 それらの伝承を裏付ける可能性もあるが、遺構の確かな年代を導き出すことができなかったため、そのような伝承 が存在することを指摘するにとどめておきたい。

平成23年3月11日の東日本大震災による甚大な津波被害をうけて、仙台市では本地区を災害危険区域に指定し、住宅については防災集団移転促進事業を進めており、今後当地区の様相は大きく変貌を遂げることが予想される。 今回の調査成果が変容していく当地区の歴史研究の一助になれば幸いである。

#### 〈引用・参考文献〉

愛知県史編さん委員会 2012 『愛知県史 別編窯業3 中世・近世 常滑系』

仙台市教育委員会 1988 『東光寺遺跡』 仙台市文化財調査報告書第112集

仙台市教育委員会 2000 『沼向遺跡第1~3次調査』 仙台市文化財調査報告書第241集

仙台市教育委員会 2002 『今市遺跡発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第260集

仙台市教育委員会 2004 『鴻ノ巣遺跡第7次発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第280集

仙台市教育委員会 2009 『沼向遺跡第35次調査』 仙台市文化財調査報告書第337集

仙台市教育委員会 2010 『貞山堀調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第357集

仙台市教育委員会 2010 『沼向遺跡第4~34次調査』 仙台市文化財調査報告書第360集

仙台市教育委員会 2010 『中野高柳遺跡第1~5次調査』 仙台市文化財調査報告書第361集

仙台市教育委員会 2010 『若林城跡第8・9次発掘調査報告書』 仙台市文化財調査報告書第377集

仙台市史編さん委員会 2001 『仙台市史 通史編3 近世1』

仙台市史編さん委員会 2006 『仙台市史 特別編7 城館』

仙台市史編さん委員会 2014 『仙台市史 特別編9 地域史』

多賀城市教育委員会 2014 「八幡沖遺跡 第7次調査」『平成26年度 宮城県遺跡調査成果発表会 発表要旨』

東北大学埋蔵文化財調査研究センター 2000 『東北大学埋蔵文化財調査年報13』

東北歴史資料館 1995 『仙台・堤のやきもの』

宮城県教育委員会 2003 『中野高柳遺跡 I』 宮城県文化財調査報告書第194集

宮城県教育委員会 2004 『中野高柳遺跡Ⅱ』 宮城県文化財調査報告書第197集

宮城県教育委員会 2005 『中野高柳遺跡Ⅲ』 宮城県文化財調査報告書第201集

宮城県教育委員会 2006 『中野高柳遺跡Ⅳ』 宮城県文化財調査報告書第206集

第12表 試掘・確認調査遺物集計表

电性力		土	師器	須	恵器	土餌	質土器	ļ	陶器	ł	磁器	Æ	T製品	銵	製品	;	不明	7	の他	,	合計
遺構名	数	量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量
A2調査区一持	£		g	1	5 g		g	1	64.6 g		g	1	90 g		g		g		g	3	159.6 g
A4調査区一持	£		g		g		g	6	31.6 g	2	11.6 g		g	1	47.2 g		g	1	5.9 g	10	96.3 g
A5調査区一持	£		g		g		g	3	6.6 g	1	0.7 g		g	1	9.4 g		g	1	1.6 g	6	18.3 g
B2 SD1			g		g	1	2.1 g		g	1	12.4 g		g		g		g		g	2	14.5 g
B4 SD1			g		g		g	1	91.2 g		g		g		g		g		g	1	91.2 g
B4調査区一招	i		g		g		g	1	0.6 g	1	9.2 g		g		g		g		g	2	9.8 g
B7 上層			g		g	2	10.3 g	11	230.6 g	3	14 g	1	99.8 g	1	16.5 g		g	1	4.7 g	19	375.9 g
B7 下層			g		g	2	12.5 g	6	104.0 g	2	2.2 g		g	1	3.6 g		g	2	51.5 g	13	173.8 g
表採			g		g		g	1	5.7 g		g		g		g		g		g	1	5.7 g
合計		0	0 g	1	5 g	5	24.9 g	30	534.9 g	10	50.1 g	2	189.8 g	4	76.7 g	0	0 g	5	63.7 g	57	945.1 g

#### 第13表 本発掘調査遺物集計表

遺構名	±	:師器	須	恵器	土卸	質土器	ļ	陶器	1	<b>滋器</b>	Æ	ī製品	銷	製品	7	不明	7	- の他		合計
退阱石	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量	数量	重量
SL1	5	109.7 g	7	128.2 g	2	8.5 g	4	146 g	12	404.2 g	2	158.2 g	5	81.1 g		g	4	416.2g	41	1452.1 g
SD2	2	6.9 g	2	42 g		g	3	1052.4 g	11	293.7 g	1	520.2 g	12	267.8 g		g	30	820.2 g	61	3003.2 g
SK3		g	1	14.3 g		g		g		g		g		g		g		g	1	14.3 g
SK5		g		g		g		g		g		g		g		g	1	83.4 g	1	83.4 g
SD21		g	3	28.2 g	1	17.6 g		g		g	1	100 g	1	8.8 g		g		g	6	154.6 g
SD26	1	21.5 g	1	125 g		g	4	83.6 g		g	3	591.8 g		g		g		g	9	821.9 g
SD96		g	1	16.4 g		g		g		g		g		g		g		g	1	16.4 g
SD114		g	1	42.7 g		g		g		g	2	366.3 g		g	1	1.3 g		g	4	410.3 g
SD115		g	1	14.2 g		g		g		g	2	395 g		g		g		g	3	409.2 g
SD116		g	1	1.6 g		g		g		g		g		g		g		g	1	1.6 g
SM120		g	1	11.3 g		g		g		g		g		g		g		g	1	11.3 g
調査区一括	9	45.1 g	8	58.9 g	3	10.1 g	11	201.6 g	5	137.1 g	2	745 g		g		g	4	28.3 g	42	1226.1 g
合計	17	183.2 g	27	482.8 g	6	36.2 g	22	1483.6 g	28	835 g	13	2876.5 g	18	357.7 g	1	1.3 g	39	1348.1 g	171	7604.4 g



1. 1961年の遺跡周辺の航空写真



2. 1977年の遺跡周辺の航空写真

写真図版3 調査地点周辺航空写真



1. SL1土塁検出状況(南東から)



2. SL1土塁西側(北から)



3. SL1土塁北側(西から)

写真図版 4 SL1土塁検出状況



1. 調査区東壁土層断面(西から)



3. 調査区東壁土層断面(西から)



5. 調査区南壁土層断面(北から)



7. 調査区南壁土層断面(北から)



2. 調査区東壁土層断面(西から)



4. 調査区東壁土層断面(南西から)



6. 調査区南壁土層断面(北から)



8. 調査区南壁西側土層断面(北から)

写真図版 5 調査区壁断面



土塁北側地区遺構検出状況(東から)



2. 土塁北側地区西壁土層断面(東から)



3. 土塁西側地区遺構検出状況(東から)



4. 土塁西側地区南壁土層断面(北から)



5. 土塁第1・2トレンチ土層断面(西から)



6. 土塁第3トレンチ土層断面(西から)



7. 土塁2トレンチ東壁土層断面(西から)

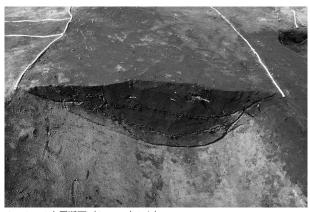


8. 土塁第5トレンチ北壁断面(南から)

写真図版6 土塁北・西側地区·SL1土塁土層断面







3. SD16土層断面(SPD・東から)



4. SD21土層断面(SPE・西から)



5. SD21土層断面(SPF・北から)



6. SD26・114・115土層断面(SPI・東から)

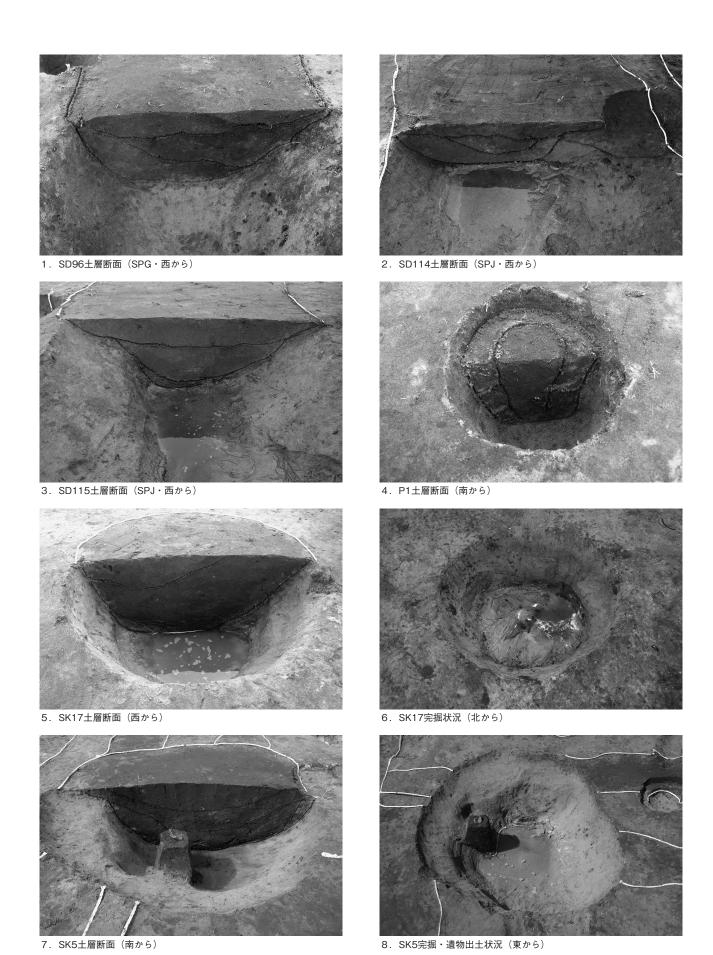


7. SD26土層断面(SPH・西から)

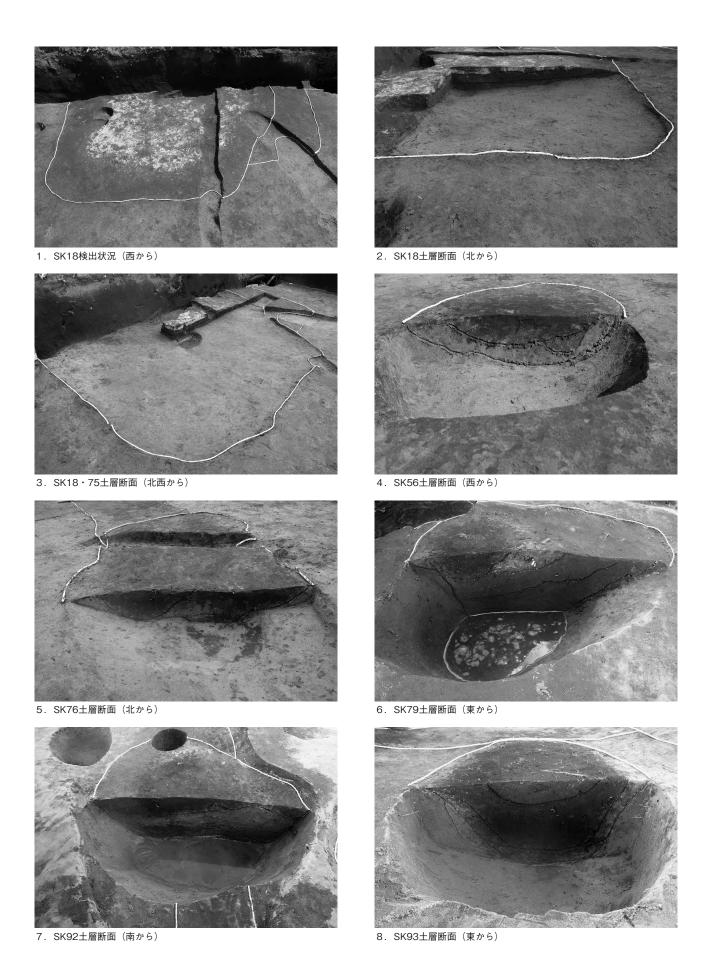


8. SD16土層断面(SPC・南から)

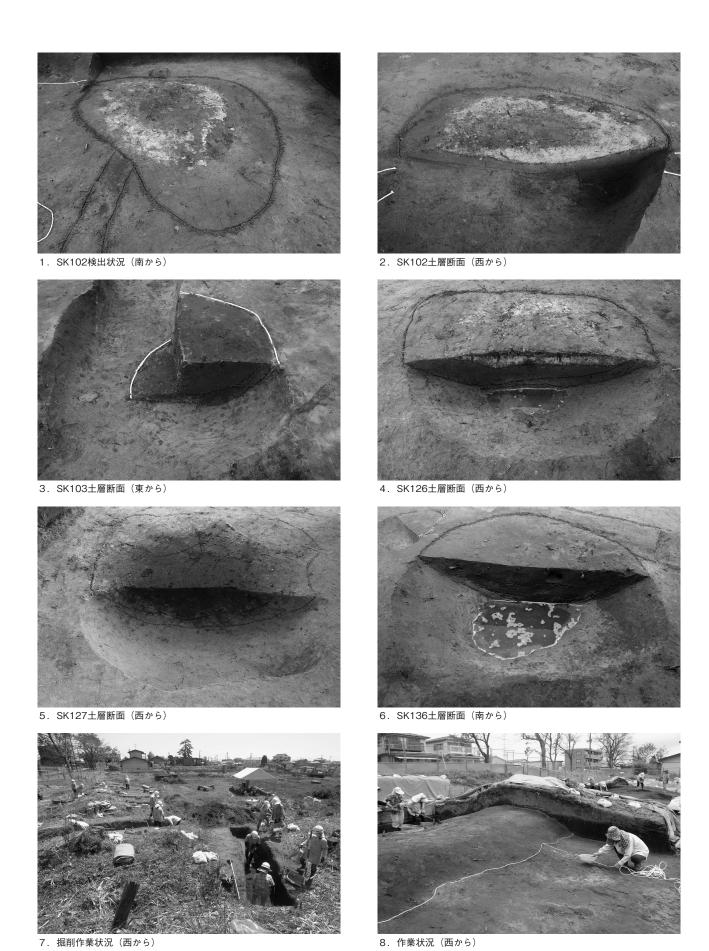
写真図版7 溝跡土層断面(1)



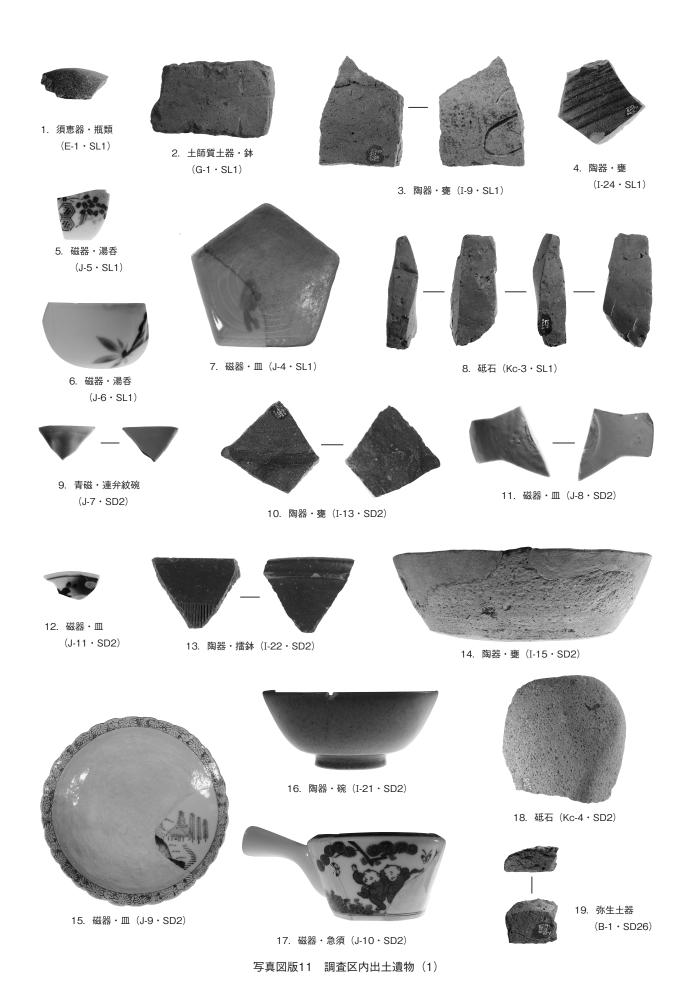
写真図版8 溝跡土層断面(2)・ピット・土坑土層断面(1)・遺物出土状況

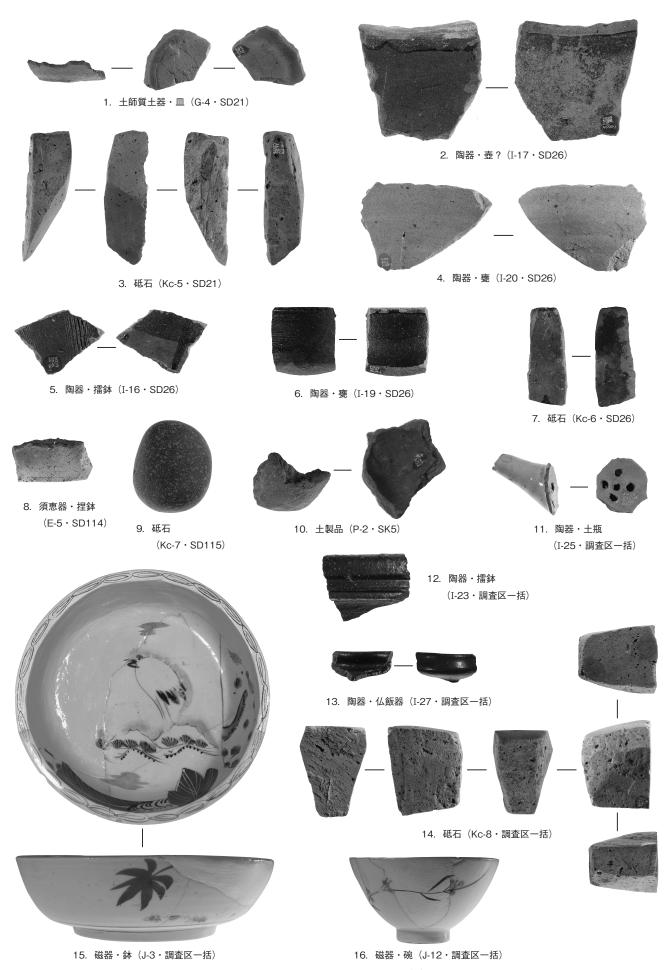


写真図版 9 土坑土層断面(2)・検出状況(1)



写真図版10 土坑土層断面(3)・検出状況(2)・調査区内作業状況





写真図版12 調査区内出土遺物(2)

# 報告書抄録

ふりがな	わだおりべ	たては	あと										
書名	和田織部館	跡											
副書名	平成26年度	蒲生は	比部地▷	区被災市街地	也土地区	Z画整3	理事業関係遺跡発掘調	査報告書					
巻次	_												
シリーズ名	仙台市文化	財調都	上報告書	<b>事</b>									
シリーズ番号	第439集												
編著者名	長島栄一、	及川調	兼作、石	山智之									
編集機関	仙台市教育	委員会	会(文化	化財課)									
所在地	₹980-0811	5980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-1-25-3F TEL 022 (214) 8893											
発行年月日	2015年3月	31日											
ふりがな 所収遺跡名	ふりが 所 在			コード 対 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因				
和田織部館跡	みやぎけんせんだい 宮城県仙台 みやぎのくがき 宮城野区蒲			01229	01229 38° 15′ 42″		2014.7.28~2014.11.7	1,227 m²	土地区画整 理事業に伴 う事前調査				
所収遺跡名	種別	主な	時代	主な遺	構		主な遺物	特記事項					
カ だ おり べ たて おと 和 田 織 部 館 跡	土塁、堀跡、   弥を   古代~   区画溝、   土自   近世   小溝状遺構群、   石割					土師質	土器、土師器、須恵器、 質土器、陶器、磁器、 品、土製品、 品	古代は小溝状遺構都と土とから、生産が見るととて利用される。明確に特定されなから、増は発見されなから、					

## 仙台市文化財調查報告書第439集

## 和田織部館跡

平成26年度蒲生北部地区被災市街地土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書

2015年3月

発行 仙 台 市 教 育 委 員 会 仙台市青葉区一番町四丁目 1 - 25 東二番丁スクエア 3 F 文化財課 TEL 022 (214) 8893

印刷 株式会社 東 北 プ リ ン ト 仙台市青葉区立町24-24 TEL 022 (263) 1166